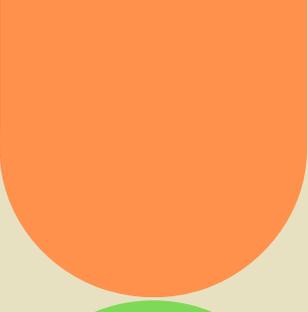
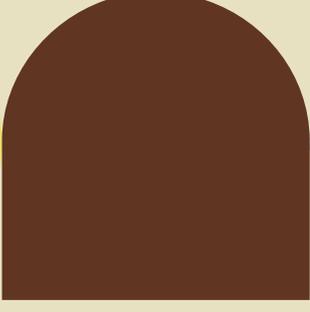
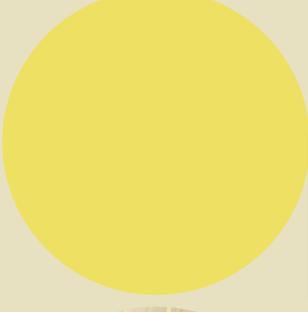
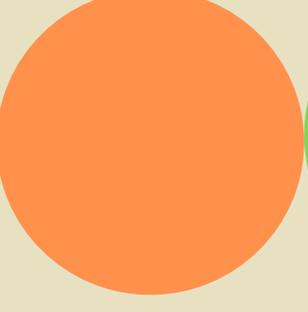
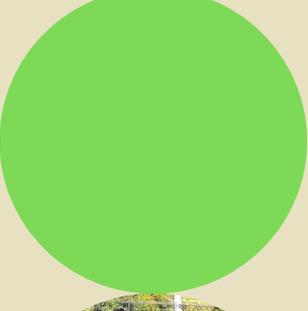


令和6年度 さいわい縁むす日報告書



令和7年3月
川崎市幸区
受託事業者 川崎市社会福祉協議会



目次

I. 令和6年度「さいわい縁むす日」の目的・概要	1
1. 当事業の目的	1
2. 令和6年度スケジュール	2
II. 対象地区選定について	3
1. 希望地区について	3
2. 対象地区の選定	3
III. 地域課題と解決策について	4
1. 地域課題について	4
2. 解決策の検討	5
IV. 「さいわい縁むす日」強化月間について	7
1. イベント開催に向けた準備	7
2. 子ども向け郷土文化講座（フランポネの地元ネタ漫才作成講座）	10
3. 地域情報の発信	12
V. 「さいわい縁むす日」イベント当日の様子	14
1. 当日の概要	14
2. 当日の様子	17
3. 周知活動について	20
VI. 令和6年度さいわい縁むす日の振り返り	21
1. 参加者アンケート	21
2. 係員アンケート	25
3. 地域の活性化に向けた住民の声	27
4. インタビュー	28
5. 考察	34
資料編	37
1. 町内会連合会説明資料	37
2. 打ち合わせ記録	40
3. 町内会自治会イベント開催に向けた手引き	54
4. 制作物	59

I. 令和6年度「さいわい縁むす日」の目的・概要

1. 当事業の目的

■地域コミュニティの希薄化を解決するためのきっかけづくりとして

「人と人とのつながり」は防災・防犯をはじめ、子育てや高齢者の見守り、地域の清掃など区民の暮らしの基盤である。一方で、幸区においては、大型マンションの建設等による人口の増加が進む中、町内会・自治会の加入率は減少傾向にあり、特に若い世代における地域への関心や人間関係の希薄化が進行し、地域力の低下が課題になっている。また、永年区と共に市民活動の活性化に寄与してきた市民活動団体においても、担い手が固定化・減少しており、活動の活性化が課題となっている。

そこで幸区では、私たちが日ごろ生活している地域において人と人とのつながりをつくるため、地域への関心や関わりが薄い層に対して地域活動に参加しやすいきっかけを創出することを目的に「さいわい縁むす日」事業を令和4年度から本格実施している。

さいわい縁むす日は、地域の抱える課題の解決につながる取組を地元のみなさんが中心となって取組んでいくものであり、この取組を幸区役所や当該事業の委託事業者である川崎市社会福祉協議会が検討段階から支援することを通じて、地域の中の縁が広がっていくことを目的としている。

令和6年度については、対象となる地区より抽出された課題を踏まえ、取組内容を検討し、地域コミュニティの醸成と担い手を増やすとともに、町内会自治会の運営における持続可能な体制づくりについて模索する。

2. 令和6年度スケジュール

令和6年度の「さいわい縁むす日」のスケジュールは下記のとおり

経過	時期	内容	参加人数
各町内会連合会への説明と募集	4月	○幸区町内会連合会説明（11日） ○南河原地区町内会連合会説明（12日） ○御幸地区町内会連合会説明（18日） ○日吉地区町内会連合会説明（24日）	社協：各2名
対象地区の選定	5月	○希望地区募集期間（×切：20日）	—
	6月	○希望地区ヒアリング（4日） ○対象地区の選定決定（7日）	—
課題の抽出		○第1回打ち合わせ（20日）	自治会：1名 社協：5名 区役所：3名
企画の内容検討	7月	○第2回打ち合わせ（19日）	自治会：1名 社協：4名 区役所：2名
	8月	○会場の下見・第3回打ち合わせ（10日）	自治会：6名 社協：3名 区役所：2名
	9月	○第4回打ち合わせ（9日）	自治会：1名 社協：4名 区役所：2名
実施にあたっての調整	10月	○第5回打ち合わせ（9日）	自治会：1名 社協：5名 区役所：2名
		○イベント会場整備（草刈り）・周辺地域への周知（22日）	自治会：1名 社協：4名 区役所：2名
強化月間取組		○漫才作成講座の開催（16日）	社協：4名
開催準備	11月	○イベント前日準備（2日）	自治会：6名 社協：4名 区役所：2名
開催		○イベント当日（3日）	自治会：6名 社協：6名 区役所：3名
振り返り		○第6回打ち合わせ	自治会：1名 社協：4名 区役所：2名
インタビュー	12月	○対象地区自治会役員へのインタビュー	自治会：1名 社協：4名 区役所：2名
強化月間取組	2月	○地域情報の収集・発信	—

※参加人数はプロジェクトメンバーの数

II. 対象地区選定について

1. 希望地区について

○令和6年度「さいわい縁むす日」の希望地区としては、河原町1号館自治会とクレストプライムレジデンス自治会の2自治会からあった。

○令和6年度の対象地区は、1地区に限ることから2自治会に対して、区役所がヒアリングを実施した。ヒアリングの内容は、下記のとおりである。

自治会名	河原町1号館自治会
出席者	池田会長、他2名
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none">・抱える課題は「外国人居住者の増加」である。役員やイベント運営側を引き受けてもらうのに苦労している。・入居者の高齢化も進んでいるが、外国人居住者の増加に伴い子どもが増えている。・今年度、河原町体育館さよならイベント、流しそうめんイベント、研修旅行などを計画している。・その他の取り組みとして、団地祭、バザー、運動会、美化運動、グラウンドゴルフ、ポッチャなど

自治会名	クレストプライムレジデンス自治会
出席者	浅利会長
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none">・設立：令和4年12月1日 区町連加入：令和5年4月1日・自治会長は40代前半・自治会イベントの開催は未経験であり、ノウハウがない・小倉地区・日吉地区などの周辺町内会・自治会と交流を図りたい・抱える課題は「交通安全・子育て」（入居者の構成は、未就学児のいる世帯が多い）

2. 対象地区の選定

ヒアリングを実施したところ、河原町団地として抱えている課題はあるが、解決に向けた取組を既に色々と計画しており、日頃より河原町連絡協議会で連携し、地域の「縁むす日」のための取組は行っていることから、今回の申込を取り下げるとの結論に至った。

よって令和6年度については、申込のあったクレストプライムレジデンス自治会に決定。

Ⅲ. 地域課題と解決策について

1. 地域課題について

自治会長との打ち合わせのなかで明らかになった課題は下記のとおりである。

- ① 住民同士の交流の機会が少なく、関係性が希薄化している。
規模が大きいこともあり、クレストプライムレジデンスの住人同士の交流の機会が少なく感じている。
- ② 自治会活動の担い手が不足している。
自治会加入率は89.5%であるが、自治会活動への関心が低く、また子どもを持つ共働き世帯が多いことから、自治会活動の担い手が不足している。
- ③ 近隣の町内会や商店街等の地域との関わりが少ない
同じエリアにある近隣の町内会や商店街等との交流を持つ機会が少なく、子どもたち同士が友達であっても親同士の交流や地域とのつながりが持てておらず、大人の交流できる場の必要性を感じている。
小学校新設後も小倉小学校などの近隣とのつながりを持ち続けたいと考えているが、具体的な手法については苦慮している。
- ④ 住民の交通安全への意識が低い。
もともとが工場地帯（新鶴見操車場）であったため、歩行者視点の交通環境が整えられていない部分がある。
同じエリアの小倉にて近年、死亡事故が発生していることから、当該マンションにおいても起こり得る事故と想定して、住民全体の交通安全の意識を高める必要性を感じている。
安全で住みやすい地域とするため、近隣住民と協力して、子どもを見守る目を増やす
- ⑤ 大規模イベント運営の不安
昨年、企画の実施（模擬店の出店等）から案内まで、ほとんどのことをクレストプライムレジデンス自治会の秋祭り実行委員（自治会役員に同じ）が担う秋祭りを開催した際、想定を上回る集客があり、運営がうまくいかなかった。参加した住人からも多くの意見が寄せられ、大規模でイベントを開催するにあたり、運営の不安を感じている。メンバーの負担が大きいことから、企画の広がりにも限界があり、役員の負担軽減や今後の持続可能な運営方法の検討が必要。

2. 解決策の検討

(1) 課題解決に向けた企画の提案

抽出された課題の解決のため、下記の内容を提案した。

- ① 住民同士の交流の機会を創出するため、大規模イベントを開催する。
- ② 自治会への興味・関心を高めるため、秋祭りのイベントにおけるボランティアを募集し、参加を通じて、自治会活動への理解を深めてもらう機会を創出する。また自治会の加入者特典等を設け、自治会未加入世帯に向けて、加入のメリットを示し、加入促進を促す。
- ③ 近隣の町内会や商店街等との交流のため、秋祭りにおける商店街等への参加の呼びかけや近隣町内会の住民に対して周知を行う。
- ④ 住民の交通安全への意識を高めるため、秋祭りイベントにおいて、交通安全のVR体験を実施し、事故等のシミュレーションを通じて、交通ルールを守ることの大切さを呼び掛ける。また、消防団に当日の協力を仰ぎ、交通安全の声掛けや誘導等を行なっていただく。
- ⑤ 縁むす日事業におけるプロジェクトチームにおいて、クレストプライムレジデンス自治会の秋祭りの開催や運営における支援を行う。また地域の関係機関・団体等の資源とのコーディネートやチラシの作成などにおける広報支援を行い、自治会役員や実行委員にイベント開催のノウハウの伝授と初回開催時の負担を軽減する。

(2) 連携団体等とその役割

今回のさいわい縁むす日では、参加者想定を6,000人とし、実行委員の負担及び予算の軽減のため、下記の団体に連携を依頼してイベントを開催した。

① 日吉商店街連合会

クレストプライムレジデンスの道路を挟んで向かいの地域にある小倉商栄会が加入する連合会であり、同じ日吉エリアに店を構えている商店が多数加入している。秋祭りのイベント（以下、イベント）において、商店街連合会として、飲食の出店を行った。また日吉商店街連合会で作成したご当地キャラクターである太田道灌の着ぐるみ（どうかんクン）が地元文化の発信を行った。

② 日吉地区社会福祉協議会

クレストプライムレジデンスのエリアである日吉第3地区社会福祉協議会とともに日吉第1・2地区社会福祉協議会にも協力し、活動や居場所の紹介を行った。またイベントのチラシの配架等、広報面の協力を行った。

③ 幸区民生委員児童委員協議会

日吉エリアの民生委員児童委員協議会を中心に当日のイベントにて、子ども向けの体験ブースの運営を行うとともに、地域の身近な相談相手である民生委員児童委員の存在や役割等の紹介を行った。

④ 幸消防団

安全なイベント運営のため、会場周辺において注意喚起のポスターの掲示や来場者の整備、交通安全の呼び掛けを行った。

⑤ 川崎市立看護大学

地域貢献委員の学生が参加し、認知症サポーター「キャラバン」のロバ隊長をモチーフとしたペーパークラフト体験を行い、子どもやその親に親しみやすい形で認知症の普及・啓発を行った。

⑥ 幸区内こども文化センター

児童の地域での遊びの拠点である当該施設の周知とともに、事業内容の出前体験の場として昔遊びコーナーを実施。また、幸区社会福祉協議会のわたあめやポップコーンの販売、地域のたすけあい活動の赤い羽根共同募金運動における募金箱の設置に協力。

⑦ 日吉郷土史会

1999（平成11）年から、日吉地区の記憶と歴史を語り継ぐ活動を続けている。クレストプライムレジデンス自治会の希望である、地域の文化と触れ合う機会として、日吉エリアの郷土史のパネル展示やその説明を行った。

⑧ お美味さんくらぶ

地元川崎でとれた新鮮で安全な美味しい野菜の移動販売を展開しており、当日のイベントでも販売会を行った。

⑨ 川崎市教育委員会

令和7年度新設予定の川崎市立新小倉小学校の紹介パネルの展示を行った。

⑩ フランボネ（吉本興業所属）

川崎市出身のマヌー島岡さんとスイス人の妻、シラちゃんによる国際夫婦漫才コンビ。神奈川県「住みます芸人」として川崎市社会福祉協議会からの福祉基金助成金を受け活動しており、クレストプライムレジデンス自治会の希望である地元文化の発信のため、日吉・小倉エリアの漫才ネタの作成及び、イベント当日の司会進行を担った。また小倉こども文化センターにおいて、講座を開催し、子どもたちに漫才作成の仕方をレクチャーし、イベント当日の舞台発表を試みた。

⑪ 神奈川工科大学インタラクショndeザイン研究室

川崎市社会福祉協議会と共同研究を行っている神奈川工科大学から、鈴木 浩研究室で開発した「サンコロビンゴ」を借用し、子ども向けの体験コーナーを実施。

⑫ 幸区役所危機管理担当

交通安全意識の醸成のため、自転車シミュレーター体験を実施。

⑬ 地域みまもり支援センター地域ケア推進課

地域包括ケアシステムの普及啓発や地域活動の紹介、缶バッジ作成コーナーを実施。

IV. 「さいわい縁むす日」強化月間について

1. イベントの開催にむけた準備

(1) 打合せ・情報共有

イベントの開催に向けて自治会役員を含めたプロジェクトチームで打ち合わせを行い、実施内容の検討・調整、当日の運営について検討を重ねた。また、内容や役割分担、出店団体等の取りまとめやスケジュールの共有を図った。（※添付資料）

(2) 連携団体への依頼・打合せ

各種連携者・団体への依頼や打ち合わせを下記のとおり実施。

日にち	連携者・団体	内容
8月28日	小倉中町内会 土倉会長	小倉の地域情報の収集
8月28日	神奈川工科大インタラクシオンデザイン研究室	イベント趣旨説明、協力内容の確認等
8月30日	フランポネ、土倉会長	地元の漫才ネタの作成のため、参考情報の収集
10月29日	日吉郷土史会	郷土史紹介パネルの内容や配置等の検討
10月30日	お美味さんくらぶ	会場下見・搬入経路の確認

(3) 広報協力

イベントの案内として、クレストプライムレジデンスの全世帯にチラシのポスティングを行った。作成及び印刷については、自治会役員の負担軽減のため、社会福祉協議会が代行した。（※添付資料）

また、日吉地区町内会連合会や日吉地区商店街連合会の定例会に参加し、顔の見える関係性を築きながら、イベント開催の理解を得ることに注力した。

(4) ボランティアの募集

当日の円滑な運営及び活動を通じて、自治会への理解を深めていただくため、自治会加入者向けに運営ボランティアを募った。10名の申し込みがあり、10月26日に事前説明会を行った。

(5) 掲示物等の作成

来場者向けに駐輪スペース等の掲示物や各ブースの看板をデザイン及び作成した。また、クレストプライムレジデンス自治会の活動紹介や会員募集の案内を掲載したプログラムをデザイン及び作成し、来場者に配布。後日、10世帯の加入につながった。（※添付資料）

(6) 会場の下見、近隣地域への周知

会場レイアウトや当日の円滑な運営のため、自治会役員とともに会場を下見した。またレイアウト図作成のため測量を行った。雨天時の開催場所の検討を合わせて行い、小倉跨線橋下にも足を運んで、レイアウトを検討した。

開催間近には、音響テストや会場整備のため「さいわいふるさと公園」の草刈りを行った。また、近隣住民に開催の理解を得るため、周辺150世帯にチラシと併せてビラを配布した。

イベント前日は大雨のなか、クレストプライムレジデンス自治会役員や実行委員とプロジェクトチームと一緒に備品の運搬から会場案内の掲示、テントの設営等を行い、当日に向けた準備を整えた。

■情報共有（資料）

さいわい緑むす日2024 内容等役割分担一覧							
内容	責任者	実施・協力団体	調整担当	必要備品	配置人員	お弁当数	備考
<small>※赤字が検討・決定事項 お弁当準備 水色：自治会、黄緑：区社協</small>							
<input type="checkbox"/> ◎本部	浅利会長	自治会	浅利会長				
<input type="checkbox"/> 飲み物の販売	-	自治会（子ども会）	浅利会長				
<input type="checkbox"/> キッチンカー	-	別紙「飲食関係出店内容」とおり	自・区・社協				出店料：今後の調整の中で検討 一なし
<input type="checkbox"/> 野菜の販売	-	お美味くらぶ	区社協				確認中 お美味くらぶに来場者2000名想定で依頼。 10月中に現地下見と打ち合わせを実施予定。 トラックからの荷下ろし可能。 前日キャンセルで可だが、野菜の一部買取をお願いできれば。 →買取の上、マンション内で販売
<input type="checkbox"/> 子ども向けイベント① 一なし	-	子ども会	自治会				持ち帰り実施内容を検討
<input type="checkbox"/> 子ども向けイベント② ・スモートニック→なし ・サンコロピンゴで決定	市社協	神奈川工科大学	市社協		3		・機材は大学が持込み。 ・交通費等の謝礼について要確認 一なし →先方より交通費・日当の希望があったが他団体との整合性がとれなくなるため、サンコロピンゴのみをお願い。先生が来てくれるかは確認。 →先生の参加なし。 ※実習生がお手伝いにまられないか確認中。
<input type="checkbox"/> 子ども向けイベント③ ・折り紙	浅利会長	川崎市立看護大学	浅利会長				学生の夏休み明けに内容を再確認する予定 ※サボのロバ君を折る予定？（※折り紙の準備は区社協）
<input type="checkbox"/> 子ども向けイベント④ ・音遊びコーナー（活動紹介） ・わたあめ・ポップコーンの販売 →別紙「飲食関係出店内容」とおり	-	こども文化センター	区社協		12		わたあめ・ポップコーンについて、此文での販売の場合、事前に保護者のアレルギー承認を得る必要があることから、区社協名とする。スタッフについては此文で調整。
<input type="checkbox"/> 子ども向けイベント⑤ ・キットバス （お米由来で口に入れても大丈夫）	区社協	ボランティア	市社協	机：2台 椅子：10脚	日吉第3 民見協 5～6名	7	幸区民見協に打診。日吉第3地区に協力をお願いする方向性で、5～6名程度ご協力いただく予定。 実施方法の詳細については別途区社協にて確認 ※併せて赤い羽根の募金箱設置、広報啓発を行う
<input type="checkbox"/> 自転車シミュレーター・VR体験	-	区役所危機管理室	区役所				VR体験は砂地での実施不可。ブルーシートを区役所で準備
<input type="checkbox"/> 地域情報の展示	区社協	町内会・民見協・子育て・ 区社協・地区社協・福祉施設等の 情報	区社協			2	町内会：地域振興、民見協・区社協・地区社協・区社協、 子育て：地ケア

■会場下見の様子



■近隣地域への周知の様子



さいわいふるさと公園近隣の皆様へ
さいわい绿むすび
クレストプライムレジデンス自治会秋まつり
開催のお知らせ

この秋、さいわいふるさと公園にて、下記のとおりイベントを開催いたします。
 秋まつり会場、新築現場を併用したステージプログラムを予定しております。
 当日は、当地区自治会・スタッフが会場周辺整備を行います。
 皆様におかれましては、誠に恐縮ではございますが、ご来場の際は、ご協力をお願いいたします。

日時：11月3日（日）文化の日
11：00～15：00（開催の地域は事前で案内いたします）
 ※雨天時は大会場屋根下でのご開催 ※開催内容も中止

内容：ステージ発表、焼肉コーナー、キッズカー、地域文化発信コーナー等

問い合わせ
 幸区役所まちづくり推進課 地域振興課
 044-556-6609
 主催：クレストプライムレジデンス自治会
 協力：地区自治会、11区まちづくり推進課

■草刈りの様子



■前日準備の様子



(3) 成果

想定していたイベント当日のネタ披露までは結びつかなかったが、講座を通じて子どもたちは地元的话题を織り交ぜたネタの作成に励んでおり、地域に関心を寄せる機会となった。

また、アンケート結果から講座を楽しめた様子や今後も学んだことを活かしていきたいという意欲が窺えた。

小倉こども文化センター 2024.10.16

【君も未来のM-1王者?!】アンケートまとめ

① フランポネさんに会ってどう思いましたか？

- ・おもしろい人でした
- ・漫才を教えてくださいたい人でした
- ・たのしかった
- ・会えてうれしかった
- ・次に会ったら作った漫才をみてほしい
- ・お笑いを教えてくださいたい人でした
- ・めちゃくちゃ楽しかった。もう一回やりたい
- ・漫才がおもしろかった
- ・本物だ、すごいなっておもいました。また会いたいです

② 漫才を教えてもらってどう思いましたか？

- ・漫才を教えてもらって好きになりました
- ・漫才を教えてもらったので、学校でやりたいです
- ・漫才のやり方がわかって面白かったです
- ・漫才を作るのが面白かったです
- ・前でやるのがはずかしかった
- ・教えてもらえてよかった
- ・いろんな漫才があることに気づいた
- ・こんなに早くできると思わなかった
- ・もっとやりたい
- ・もっと面白くなったら家族に見せる
- ・おもしろい人はみんなを笑わせることができるんだとわかった



3. 地域情報の発信

11月3日（日）に行われた秋祭りのイベント開催後、参加者アンケート及び「地域の活性化に必要なこと」として寄せられた声をもとに、幸区社会福祉協議会の日頃からの地域や関係機関とのつながりを活かし、クレストプライムレジデンス自治会の近隣地域の社会資源等をまとめたチラシを作成。自治会にて共有するとともに、自治会のイベント等を通じて住民に配布した。

これを機にこれまで以上に地元の地域に顔を出していただき、地元資源を活かしながら、地域とのつながりを感じてもらおう契機となればと考える。

[作成物]

暮らしに役立つ地元情報

HIYOSHI CITY MAP



マンション近くの地域情報です。こちらを参考に、これまで以上に地元に出していただき、地元資源を活かしながら、地域とのつながりを感じてもらえれば幸いです。

 <p>1 パセオやがみ</p> <p>生活介護事業所として、製菓や下請け作業を行っています。プリン(要予約)が色品と評判です！</p>	 <p>2 セルブきたかせ</p> <p>生活介護・就労継続支援B型の施設でパンの販売やカフェを行っています。</p>	 <p>3 夢見ヶ崎動物公園</p> <p>2024年10月にパークセンターがオープン。地域とのコラボイベントや講座を開催。</p>	 <p>4 天照皇大神</p> <p>夢見ヶ崎公園の神社として親しまれ、厄除け・お宮参り等様々なご祈禱・ご祈願ができます。</p>
 <p>5 谷戸福茶会</p> <p>昔ながらのお店から、2018年オープンのCOTONIA GARDENまで！</p>	 <p>6 南加瀬中央通り商和会</p> <p>沖縄家庭料理、焼き鳥、スナック等を販売しているお店もあります！</p>	 <p>7 南加瀬原町商店会</p> <p>そば、焼肉、ラーメン、和食、イタリアン等豊富なメニュー。秋祭り参加のあんびん屋さんも！</p>	 <p>8 小倉商栄会</p> <p>小倉湯や地酒の販売をはじめ、魚屋、花屋、米屋、便利屋まであります！</p>
 <p>12 小倉の駅舎 階段だまり</p> <p>誰もが気軽に利用し、活動しながら、出会い・ふれあい・支えあい・学びあう、集いの場。</p>	 <p>11 小倉子ども文化センター</p> <p>児童を対象にした行事の開催遊びの支援、子育て親子の支援子育て支援センターもあります。</p>	 <p>10 小倉老人いこいの家</p> <p>高齢者のふれあいや健康づくりの場。市民団体向けに夜間休日の施設開放しています。</p>	 <p>9 川崎市立看護大学</p> <p>学園祭(10月)、市民公開講座など、地域参加型のイベントを開催しています。</p>

詳しい内容や最新情報はそれぞれのホームページやX等からご確認ください。

ご当地情報

地元の文化や町の営みにふれるイベント等の情報です。
ふらっと足を延ばしてみませんか？

▼小倉神社



素戔鳴尊（スサノオノミコト）と誉田別名（ホンダワケノミコト）を祭る、
地元を見守る神社。

小倉に古くからあった八幡神社と八雲神社の2社が合祀して、八幡神社の地に1956(昭和31)年に
創建。前身の2社が創建された年代は明らかにはなっていないが、八雲神社境内から出土した石
碑によると、八雲神社は鎌倉時代に神聖視されていた地に創建され、800年ほどの歴史がある。

「ふれあい朝市」の開催

日時：毎月第一日曜日 午前10時～（雨天決行）

場所：小倉神社境内

地元の小倉商業会と小倉中町内会の主催で、地域コミュニティの活性化を目的として
開催しています。

お店は焼き鳥・パン・お酒・サーターアンドギー・くじ・ワークショップ・わたあめ・
鉢植え・フリーマーケット・お惣菜など10～15店舗出店しています。

(※出店内容は変動あり)

神楽殿でのカラオケや最後に大人も子どももみんなで輪になって小倉音頭を踊ります。

▼日吉商店街連合会

日吉商店街連合会

ご当地キャラクター

「どうかんくん」

夢見ヶ崎地区にゆかりが深い太田道灌公
をモチーフとしたキャラクター
若い世代や子ども達に忘れなれつつあ
る日吉ならではの「歴史・文化・教育」
を振り返り、伝承・深掘りしながら地
域と商業の活性化を担っている。



幸区日吉地区の4つの商店街で構成され、日吉地区のシンボルである
夢見ヶ崎動物公園等で行われている各種イベントに参加・協力。

「ゆめみ“車”マルシェ」

夢見ヶ崎動物公園の「であうつながる ひろがる」をコンセプトとした「ゆめみ“車”マルシェ」
に協力し、飲食・物販サービスの提供を行っています。2025年は通年開催予定となっており、
引き続き参加・協力を予定。

「春・秋動物園まつり」

バックヤードツアー、餌やり体験、キーバズガイド等が行われているまつりにもキッチンカー
等飲食物を提供しています。

その他、節分祭や観梅会にも協力しています。

また、日吉地区にゆかりのある太田道灌という地域資源を発掘し、
道灌グッズの販売や名産品開発も行っています。詳細は右記の
FACEBOOKをご覧ください。



地域情報

▼子育て情報誌「おこさまっぷ」

幸区内の子育て情報が詰まった冊子です。健やかガイド
から遊び場・友だちさがし、室内遊びレビューなどお子
さんの月齢にあった情報を紹介しています。



▼お散歩に行こうね！

幸区内の子育て支援機関のイベント情報や、地域の育児
相談情報などが見やすいカレンダー形式にまとまってい
ます。子育て中の方必見の情報が満載です！



▼子どもの居場所

子ども食堂や学習支援、地域交流の場をまとめて紹介し
ています。ボランティアをしてみたい！居場所を作りた
い！そんな時にもお役にください。



▼まちのおと「ようこそまちボへ」

さいわいソーシャルデザインセンター「まちのおと」が
運営する、地域を応援するWEBサイトです。幸区で活動
する人・団体・町内会・自治会などのイベントや、活動
情報をお届けします。



各種相談先

▼幸区社協ボランティアセンター

地域活動に参加してみたいけど…
最初の一歩に迷ったとき、活動内容の相談や活動先
の紹介を行っています。活動を応援する助成金や事
故等の備えとして保険の受付もしています。



▼夢楽新川崎小規模多機能ホーム小倉

生活支援コーディネーター
高齢になっても住み慣れたわが町で、安心して暮らして
いけるように、地域住民が支え合う仕組みを、地域のみ
なさんといっしょにつくるお手伝いをしています。 おぐら支援愛護LINE



作成・協力

▼作成

幸区社会福祉協議会
川崎市幸区戸手本町1-5-11 川崎市さいわい健康福祉プラザ内
TEL：044-556-5500 メール：saiwaiku@csw-kawasaki.or.jp

▼協力（順不同）

日吉商店街連合会、バセオやがみ、セルフきたかせ
川崎市立看護大学、夢見ヶ崎動物公園、小倉こども
文化センター、小倉神社、小規模多機能ホーム小倉

V. 「さいわい縁むす日」イベント当日の様子

1. 当日の概要

(1) 開催日時及び会場

日時：令和6年11月3日（日）11時～15時

会場：さいわいふるさと公園（新川崎7）

(2) 概要

○クレストプライムレジデンス自治会が抱える課題に対して、解決に向けた提案のとおり多くの団体と連携して、催し物を実施した。また社会福祉協議会のもつ日頃からの地域とのつながりを活かし、地域活動を行う民生委員児童委員をはじめとした関係団体にも協力いただき、近隣とのつながりを持つ契機となった。

○日吉商店街連合会による地元商店のPRを兼ねた出店とともに、キッチンカーを4台呼ぶことで、マンションの規模に見合う飲食物を準備した。自治会加入者向けには景品を準備し、加入のメリットを設けた。景品については、社会福祉協議会とのつながりで物品を集めたことにより、昨年の秋祭りよりも品数を多く準備できた。またプロジェクトチームのメンバーはトランシーバーを携帯することで、迅速な情報共有や対応を行える体制を作った。これらのことから、大規模イベントを運営する上での不安の解消に努めた。

(3) 来訪者数

当日の来訪者数は、想定を大きく上回る6,800人であったが、混乱なく運営した。

(4) 実行委員・ボランティア

クレストプライムレジデンス自治会の秋祭り実行委員6名、ボランティア10名

(5) 企画の内容

①ステージ出演 司会：フランポネ（吉本興業所属）

内容	団体名
開会のあいさつ	クレストプライムレジデンス自治会会長
ダンス発表	danser camarade melange
日本舞踊の発表	日本舞踊 若宮流
飛び入り参加企画	出演なし
まちおこし漫才・おぐ1グランプリ	フランポネ
開会のあいさつ	クレストプライムレジデンス自治会会長

②販売コーナー

内容	出展団体・商店
わたあめ・ポップコーン	社会福祉協議会
飲み物	クレストプライムレジデンス自治会
フランクフルト	クレストプライムレジデンス自治会
カフェ	カフェデニム（幸区都町）
パン	日吉商店街連合会加入店舗
おにぎり、から揚げ、玉こんにゃく、喜久屋和菓子の詰め合わせ、伊勢屋海苔、かき氷、もつ煮、ムーンジェリーパンとコーヒー	日吉商店街連合会
ホットドッグ	クレストプライムレジデンス自治会 バーベキュー同好会
地元野菜	お美味さんくらぶ（高津区末長）
アルコール	クレストプライムレジデンス自治会

③キッチンカー

内容	出展団体・商店
チュロス、ホットドッグ、ドリンク類	RICO CAFE(川崎市内で営業中)
タコライス、フライドポテト、から揚げ	キッチンカーぐるぐる(川崎市内で営業中)
オランダワッフル、ノンフィートワッフル、オランダパンケーキ、コーヒー・紅茶パックジュース	オランダワッフル専門店「金の貝」 (川崎市内で営業中)
クレープ	FUFU(川崎市内で営業中)

④地域文化発信コーナー【体験系】

内容	出展団体・商店
出前こども文化センター	幸区内こども文化センター
挑戦！サンコロピング	神奈川工科大学インタラクシオンデザイン研究室
自転車シミュレーター体験	幸区役所危機管理担当
スーパーボールすくい	ゴールドクレスト

2. 当日の様子

①ステージ出演の様子

クレストプライムレジデンス自治会会長による開会のあいさつに始まり、マンション内で募った出演者たちが多彩なパフォーマンスを披露した。また、フランポネによるまちおこし漫才も披露され、笑いを通じ郷土文化の伝承に寄与した。



②販売コーナーの様子

日吉商店街連合会やキッチンカー等によるバリエーション豊富な食べ物に、来場者の行列ができたりと、にぎわっている様子が窺えた。地元商店を知る機会となったとともに、日吉商店街連合会で作成したご当地キャラクターである太田道灌の着ぐるみ（どうかんくん）が会場内を練り歩き、来場者と写真撮影をするシーンも見受けられた。どうかんくんが展示コーナーの呼び水となり、「歴史ある里 日吉」にも多くの方が足を運ばれ、地元文化の発信にもつながった。

また、会場内に飲食コーナーを設けたことで、住民同士で交流しながら、食事をしている様子も散見された。



③キッチンカーの様子

4台のキッチンカーに協力いただき、お昼時には行列ができたりと、大盛況であった。

事前に環境整備（草刈り）を行ったこともあり、景観もよく、子どもたちが安全に行き交えるスペースとなっていた。



④地域文化発信コーナー【体験系】の様子

マンションの住人層から未就学児の子どもたちでも楽しく遊べる体験を取りそろえた結果、たくさん子どもたちがそれぞれのブースではしゃぎ、楽しく過ごす姿が見受けられた。

自転車シミュレーターのコーナーは、常時行列ができており、VR体験を通じて子どもたちやそれを見守る親の交通安全の意識の向上に貢献した。キットパスで手形をとろう！のコーナーにも引っぱりなしに親子がつめかけた。子どもたちのアレルギー等に配慮した米由来のキットパスを活用することで、誰もが楽しく、また子どもの成長の記録を残すことができ、微笑ましい親子の交流が見られた。



地域文化発信コーナー【展示系】の様子

どうかんクンにいざなわれて多くの方に『歴史あるまち 日吉』のパネル展示をご覧いただきました。クレストプライムレジデンスの住民には、もともと地元に住んでいた方や移り住んでこられた方など、さまざまな住民層があるが、歴史という観点からも住んでいる町に興味を寄せてもらおうきっかけを作ることができた。

また、民生委員児童委員の普及啓発を通じて、身近な地域に相談相手がいることを知っていただく機会となった。



地域文化発信コーナー【参加型アンケート】の様子

自治会加入特典のプレゼントの交換場所にブースを設けたことで、149枚もの付箋を集めることができた。



⑤ その他

フォトスポットは、ハロウィンの仮装をした親子連れでにぎわっていた。花手水作成体験にも多くのこどもが参加し、初めての体験を楽しんでいた。



3. 周知活動について

(1) チラシの配布・ポスターの掲示

○チラシを作成し、下記のように配布した。（※添付資料）

クレストプライムレジデンス内：全戸配布（1, 700世帯）

町内会掲示板：周辺町内会掲示板への掲示依頼（21町内会）

近隣住宅：ピラと併せてポスティング（150世帯）

○チラシをポスターサイズに印刷して、マンション内各棟に掲示（40枚）

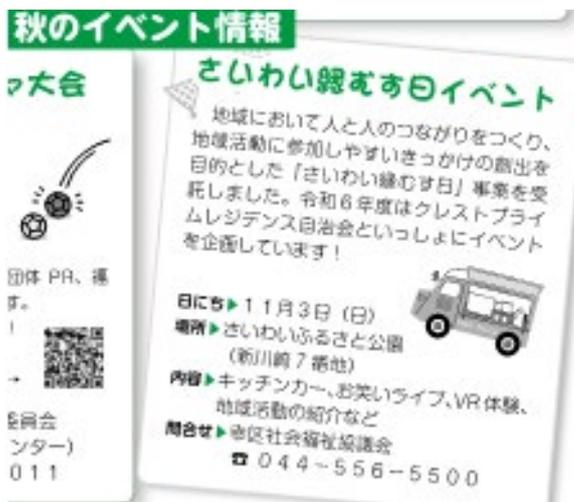
(2) クレストプライムレジデンス内

マンション内の管理システムを通じて、参加を呼びかけ

(3) 社会福祉協議会のSNS等を通じて

○幸区の社会福祉 9月号（令和6年9月1日発行）：44,000部発行

○川崎市社会福祉協議会 X投稿（令和6年11月2日） フォロワー数：414人



※なお、タウンニュース 11月29日号で当日の様子を報じる記事が掲載された。

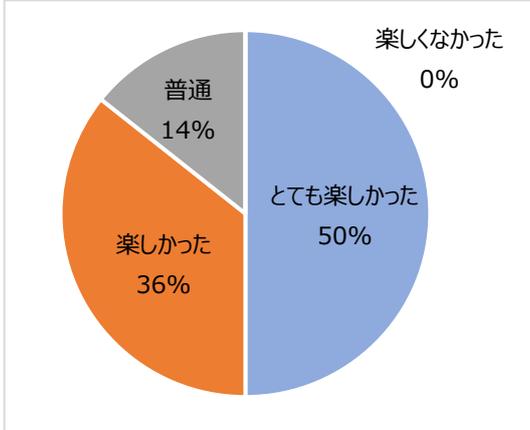


記事 二次元コード

VI. 令和6年度さいわい縁むす日の振り返り

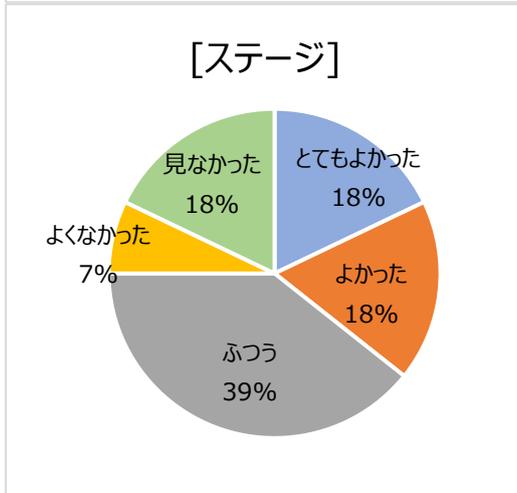
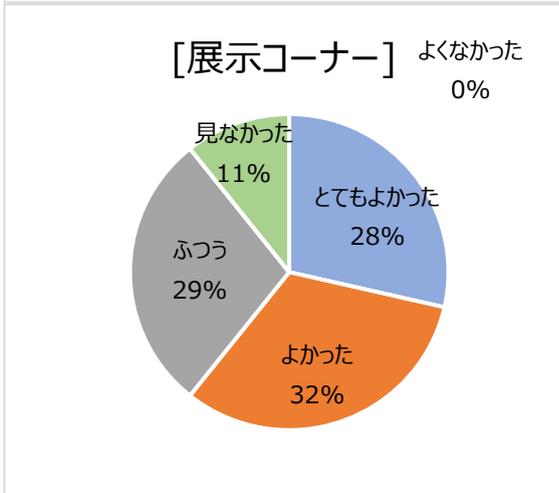
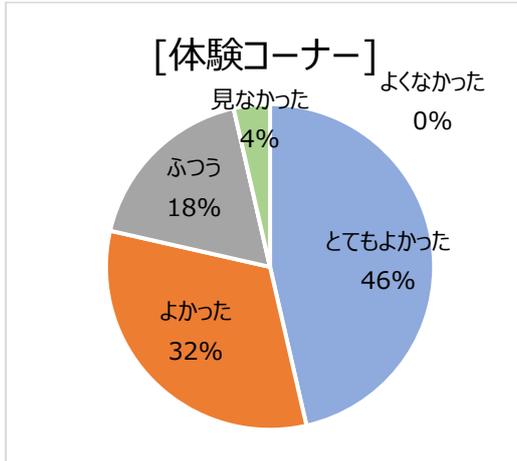
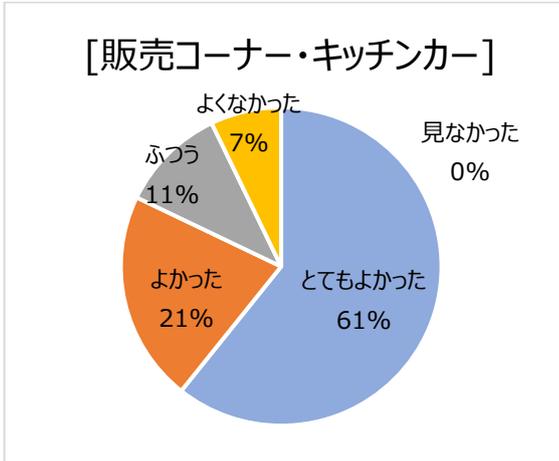
1. 参加者アンケート（28名回答）

◆「クレストプライムレジデンス秋まつり」は楽しかったですか？



秋まつりに参加した86%が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答。
 ブースについて、販売コーナー・キッチンカー、体験コーナーは約80%、展示コーナーも60%の方が「とてもよかった」「よかった」と回答。ステージに関しては「ふつう」「よくなかった」「見なかった」が64%となり課題感が感じられる。

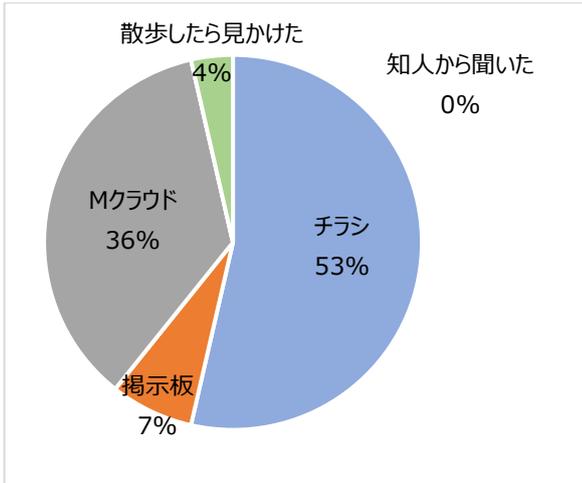
◆各ブースはどうでしたか？



◆特によかったブースがあれば教えてください。

飲食	キッチンカー（2名）、ポップコーン（2名）、オランダワッフル、フランクフルト、カフェ、パン、もつ煮、ブラジルサンド、唐揚げ、選択肢が多くて良かった
その他	自転車シミュレーター（2名）、手足形（2名）、昔遊び、体験コーナー、ロバ作り、ハロウィンの写真ブース、ボールすくい

◆「クレストプライムレジデンス秋まつり」は何で知りましたか？

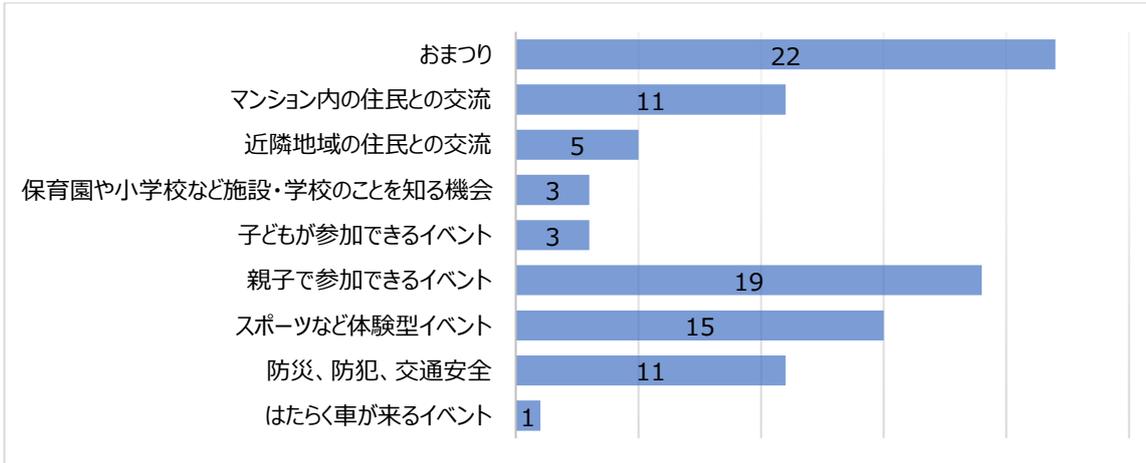


チラシを見て知った方が 53%と過半数だった。
 混雑の改善など前年からの改善が評価されていた。
 また、地域商店の販売ブースは「気になっていたが行ったことがなかったので知れてよかった」等の意見もあり、地域住民と商店がつながるきっかけになっていた。

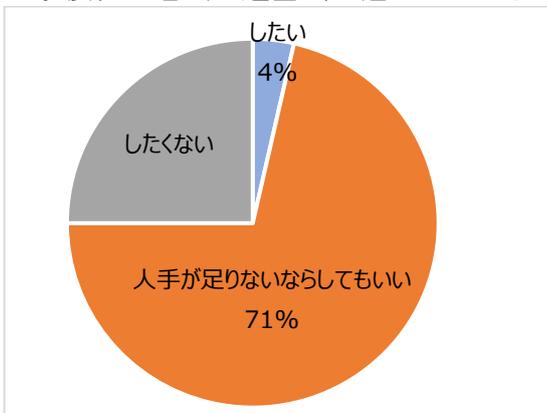
◆「クレストプライムレジデンス秋まつり」について、感想があればご記入ください。

- ・昨年よりスペースが確保され、混雑がだいぶ回避されて良かった、地元出店があり今後店舗に行く参考になった。
- ・飲食店の選択肢が多く、混雑がひどくなくて良かったが飲食の価格が少し高く、飲食スペースが少ない。ゴミ袋やウェットティッシュが置いてあったのはとても良かった。
- ・当日のタイムスケジュールやマップは事前に欲しい。
- ・クレストレジデンスを全面にお願いしたい。
- ・自治会が売っている割にフランクフルト 300 円は高いなと思いながら買ったら、食べている途中で 100 円になった。そんなタイミングで値下げするなら私達も安くして欲しかった。気のせいかもしれないが、豪華商品とか見た気がしたので、引換券の参加賞がうまい棒はしょぼいなと思った。
- ・美味しかった。わたあめなどの待ち行列がなくて良かった。広くて良かった。楽しかった
- ・飲食スペースにテントがあると嬉しい。
- ・毎年恒例にして欲しい。
- ・もう少し祭り感があれば良かった（空中の旗や、プラスバンド、ヨーヨー、射的、ミニ新幹線、空気で膨らます巨大遊具、はたらく車、飲食スペースをもう少し増やして欲しい）
- ・広くなって安全に遊び回れて良かった。あえて言うなら飲食店の商品に日差しがあたっていたのが気になった。
- ・地域の商店が出店していただいたのは良かった。商店名だけだと何処にあるのかわからないので「小倉小近くのおんぴん屋」などマンション住人なら分かるランドマークとともに記載があると、より親しみを持って接することができると思う。
- ・地域の活動内容を知る事が出来て良かった
- ・ステージ出演募集を Mcloud で知り応募した。たくさん準備して頂き、楽しく参加することができた。前日は雨の中の準備で大変だったと思う。本当にありがとうございました。
- ・行ってみたいと思っていたカフェデニムが出張していて嬉しかった。全体的にもうひと回り小さく設営したら一体感があって良かったかも。それか飲食スペースを外側に設けるとか。ガランとした見た目になっていた気がする。ステージが時間通りじゃなかった？やっている時間がなかったような気がする。
- ・会場が広くて良かった。隣の公園でも遊べるので子どもにとっても良かった
- ・来場が午前中に集中していました。良すぎた天候と、日陰がなかったことも原因のひとつなのかなと思った。テントは風が怖いので難しいところもあるかとは思いますが…

◆今後、自治会主催のイベントとしてどのようなイベントを希望しますか？（複数選択可）

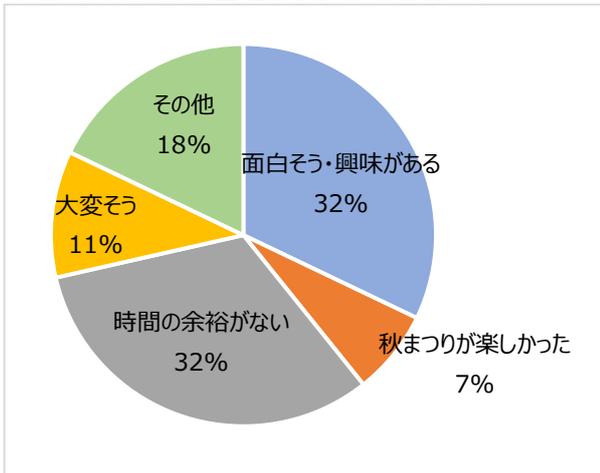


◆今後、自治会の運営（主催のイベント等）のお手伝いをしたい希望はありますか？



自治会運営を「したい」「人手が足りないならしてもいい」と前向きな意見が75%あった。理由に「秋まつりが楽しかったから」との意見もあり、自治会の姿を見て、体験してもらうことで興味を持ってもらえることが分かる。反面、43%の人が「時間の余裕がない」「大変そう」と回答しており、役員の負担感が課題と挙げられる。

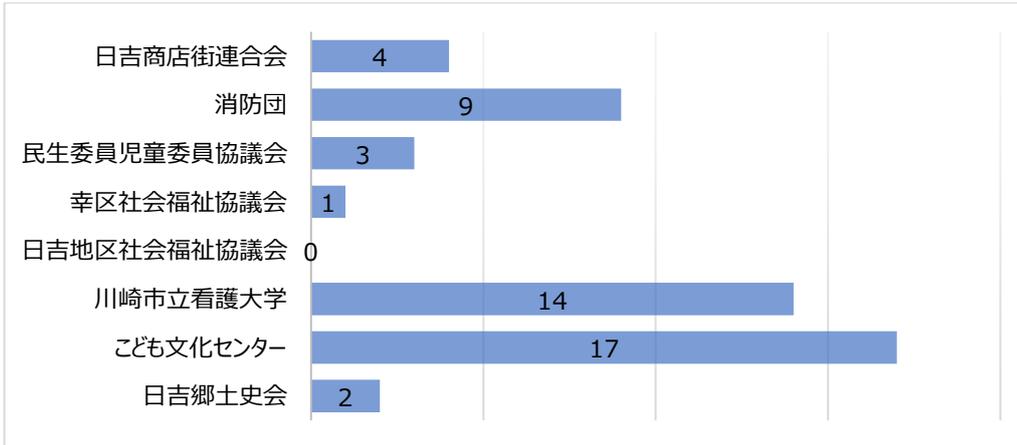
◆前問の回答理由を教えてください。



その他意見

- ・参加したいが、小さい子供がおり、土日は主人が仕事で子供の面倒を見られる人がいないので難しい。
- ・地域との関わりを持ちたい。
- ・興味はあるがなかなか時間が取れないので、積極的に参加はできないが、人が足りずに困っているようなら力になりたい。
- ・またステージ出演などありましたら参加させて頂きたい。
- ・嫁が役員の一人

◆下記の地域活動や団体について知っているものがあれば教えてください。



◆自治会活動について御意見ありましたらご記入ください。

- 日頃より、企画運営、ありがとうございます。
- 昨年のハロウィンパレードが楽しかったのでまたやってほしい！
- これだけスペースあるのであればスナックゴルフはどうですか？
- いつもありがとうございます。
- 朝から3時間近くずっと遊んでいました。すごく楽しかったです。
- 自治会のコミュニティサイトなどがあればもっと住民同士が交流しやすいと思います。また、今は祭りを含めて情報が行き渡っていないと感じるので、それもコミュニティサイトがあったら情報が届きやすいかなと思いました。
- 食事スペースが少ない
- いつもご苦労さまです。
- 今回はありがとうございました。

2. 係員アンケート（6名回答）

◆秋まつりの感想を教えてください。

楽しかった	3名
まあまあ楽しかった	2名
どちらとも言えない	1名
楽しくなかった	0

前向きな回答が多く得られた。子どもと一緒に運営に関わった体験がよかったとの声もあり、子育て世帯が多いという特徴が見られる。

◆前問の回答理由を教えてください。

- ・あまり休憩が取れなくて、祭り自体を回る時間がなかったため。
- ・ただただ、与えられたタスクを実施しただけであるため。
- ・子どもと一緒に店番が出来て貴重な体験だった。

◆秋まつりの良かった点を教えてください。

- ・色々な団体が参加していて程よい規模だった。
- ・特にいざこざなどなくて、平和で良かった。
- ・マンション内だけのイベントではなく、地域のお店、看護大学のブースがあり地域交流をはかれたと思った。
- ・地域や住民の方との交流ができた。

住民同士や地域との交流が評価されている。広報や備品準備などが次回への課題となっている。

◆秋まつりの次年度に向けた改善点や負担に感じたことなどを教えてください。

- ・祭りの開催自体もボランティア募集に関しても、もう少し宣伝すればもっと人が集まったのではと思う。
- ・ジュースに関して、氷がなくほぼ冷えていない商品を買っていました。品数多く、もっと来場者が来ていたらさばくのが大変だったと思う。品物もカルピスのレモン味だったり、なんでこれ選んだのかなと思うチョイス。子どもの来場者も多いと予想されていたのに缶ジュースも微妙だと感じた。
- ・設営に必要な備品が準備されていたら良い。（紐、ガムテープ、ハサミなど）

◆秋まつり以降、住民同士の関係に変化を感じますか？

とても深くなったと感じる	0
深くなったと感じる	3名
特に感じない	3名
わからない	0

秋まつりだけで住民同士の関係を深めることは難しいと考えられる一方で、半数が「深くなった」と回答している点は評価できる。

◆前問の回答理由を具体的に教えてください。

- ・普段話すことのない方達と知り合い、打ち上げ含めてすごく楽しかったが、日常での生活時間や行動範囲が異なるのか、あれ以来誰とも会えない。
- ・前後で何も変わっていないため。
- ・住民同士で関わるイベントはなかったと思う。
- ・お祭り以外でも交流することがあった為

◆今後も秋まつりなどの運営やお手伝いを希望しますか？

したい	5名
したくない	1名

ほとんどの方が次回も希望しており、貢献意欲の高まりが感じられる。

◆前問の回答理由を教えてください。

- ・とても楽しかった。もっと交流を深めたいし広げたいと思った。
- ・阿部さんが、人が足りないと困っていたら、参加します。
- ・どちらでもよい。選択肢がないので。
- ・住民として少しでも役にたてたら良いと思った為

◆生活の中で地域の課題と感じていることがあれば教えてください。

- ・バス便が悪く、新川崎駅や役所へ行きにくい

◆自治会の役員・ボランティアとして今後どのようなイベント等が必要だと感じているか教えてください。

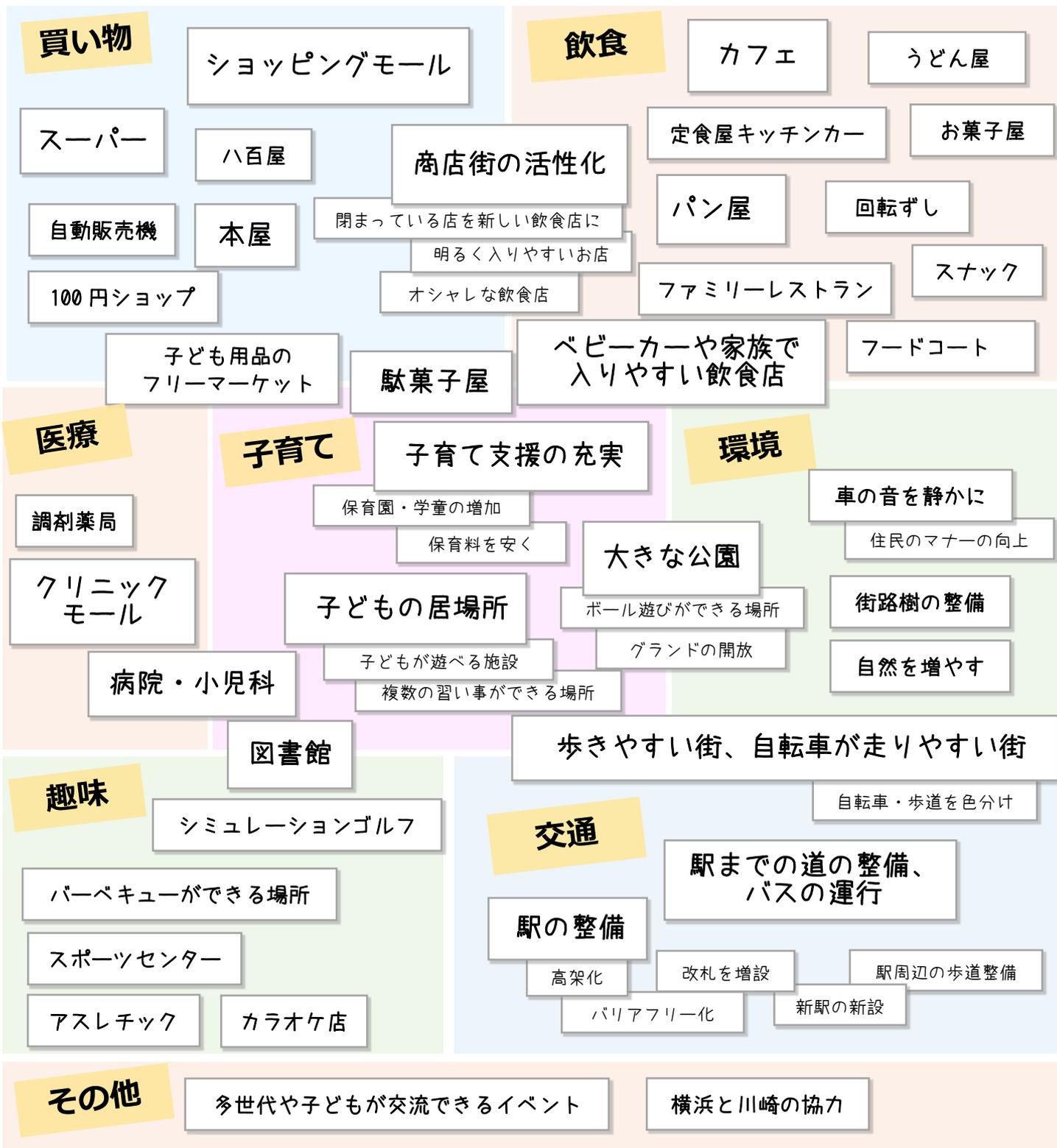
子どもが参加できる	4名
お祭り	3名
近隣地域の住民との交流	2名
防災	2名
スポーツ	2名
保育園や小学校などの施設との交流	1名
大人が交流できる	1名
交通安全	0
ペット	0

こんなのが
あったらいいな

3. 地域の活性化に向けた住民の声

秋まつり参加者 149 名の方に「地域をもっと活性化するために」をテーマに書いていただいた意見を8分類してまとめました。

後日、商店街等の地域情報をまとめてマンションの住民に発信を行いました。



4. interview

さいわい縁むす日プロジェクト クレストプライムレジデンス自治会 × 幸区社会福祉協議会

さいわい縁むす日事業として実施した「秋まつり」の振り返りとともに、自治会運営、管理組合との関係など大型マンション特有の課題や工夫、今後のビジョンについてうかがいました。



左から諏訪部副会長、浅利会長、人見会計監査

自治会設立まで

社協 自治会設立の経過を教えてください。

浅利 マンションができた当初から自治会を設立してはと管理組合や行政から声かけがありました。自治会は作りたいけど、担い手となる人材がいるか悩んでいましたが、まずはイベントを実施してみようと。

社協 イベントはどなたが担当に？

浅利 管理組合から私ともう一人が選ばれましたが、2人では難しいので立候補で準備委員会を作ることになりました。管理組合の総会で手を挙げて集まったのが今の役員メンバーです。そのまま自治会にすることとなり、令和5年に設立しました。結果的に自治会立上げに5～6年かかりました。

社協 立候補の募集方法は？

浅利 総会前に「準備委員をしませんか？」というチラシを管理組合が全世帯にポスティングしました。チラシの下段が申込書になっていて、各棟にあるコンシェルジュのポストに投函する、アナログ式です。この方法に不

安はありましたが、意外と集まったと思います。

イベントが好きで自治会役員に

社協 役員構成は？

浅利 会長、副会長、会計、会計監査の12名で構成しています。人数に意味はなく、最初に集まったのが12名ということです。

社協 男女比は？

浅利 女性6人、男性6人です。

社協 いいバランスですね。

諏訪部 年齢層が若いというのもあるかもしれません。

社協 任期は？

浅利 初年度は1年、今は2年ですが、まだ入れ替わりはありません。これから色々な人に入ってもらうといけないという課題意識を持っています。諏訪部さんが立ち上げたバーベキュー同好会でも活動をしながら役員候補を集めています。

社協 諏訪部さんが役員になろうと思ったきっかけは？

諏訪部 私はイベントや行事が好きなので、自治会に入れば、そうした提案ができるのではと思いました。

浅利 手を挙げてから2~3か月という早さでバーベキュー同好会ができました。

管理組合と自治会の関係性

社協 管理組合があるのはマンションの特長です。どのような関係ですか？

浅利 自主防災活動やクリスマスツリーの設置など、一緒に動くこともあります。

社協 町内会の場合、管理もイベントも町内会の役割ですが、マンションだと管理組合が施設管理、自治会はイベントといった役割分担ですか？

浅利 難しいところです。管理組合と自治会の明確な住み分けがあるようでないことが自治会の中で問題になっています。

社協 管理組合の役員構成は？

浅利 住民です。管理組合は法律で設置が義務付けられていて、30名程度が必要です。

社協 管理組合役員の選出方法は？

浅利 基本的には立候補で、管理組合と自治会の役員を兼任している人もいます。諏訪部さんは最も長く兼任しています。

社協 管理組合と自治会のメンバーは分けた方が良いですか？

諏訪部 管理組合は住民のクレームや苦情の処理、自治会はイベントなど会議の質が違うので分けた方が良いと思います。

浅利 もちろん、両者の連携は取れた方が良いでしょう。

諏訪部 浅利会長はよく管理組合に参加して

説明しています。

浅利 自治会立ち上げ時、意外と加入率が低かったんです。そうした経過も踏まえて、自主防災組織を作るときには、管理組合5人と自治会5人で、半分ずつ人を出すことにしました。

自治会の入退会

社協 現在の自治会の加入率は？

浅利 8割くらいです。単身赴任の方や引越す方も多いです。

社協 転入者への案内は自治会が？

浅利 はい。年度替わりに役員が説明して、勧誘しています。管理会社をお願いすると、加入者の管理費と自治会費と一緒に引き落としされます。

社協 自治会費はいくらですか？

浅利 1か月50円です。秋まつりで自治会費のほとんどを活用しています。

社協 途中退会もありますか？

浅利 はい。退会する場合は（各棟にある）自治会ポストに退会届が提出されます。その情報を管理会社に伝えて自治会費の引き落としを止めてもらいます。

役員会の時間は短く！

社協 どのような会議がありますか？

浅利 自治会役員会は月1回、日曜日の朝1時間程度で開催しています。この時間が一番集まりやすく、子ども連れの方もいるので、時間内に終わるようにこだわっています。大体その後にイベントがあります。あと年1回総会を開催します。

社協 総会はどのくらい集まりますか？

浅利 コロナ禍の影響もあり、ほぼ書面（委

任状)です。去年は3人出席があり、秋まつりの苦情が出されました。

社協 管理組合の会議は？

浅利 役員会を月1回、土曜日の夕方16時から4時間、早くても2時間くらいです。

社協 秋まつりに向けて実行委員会を設置したとうかがいましたが、開催回数は？

浅利 自治会の役員会とは別に10回くらい開催しました。メンバーは役員会の中で手を挙げてくれた6人です。前年は3人でした。

ボランティア10人とバーベキュー同好会には説明会を1回開催し、7割の参加でした。

ポスティングが一番確実

社協 広報の方法は？

浅利 各建物の1階ポストのところに掲示板がありますが、目立たない場所で効果は低いと感じています。

社協 回覧板などは？

浅利 ありません。管理会社に許可を得てポスティングするのが一番確実です。マンションが大きく、ポスティングは4時間くらいかかります。人集めを含め、それなりの覚悟と準備が必要です。秋まつりのチラシも精鋭メンバーで実施しましたが、4時間半かかりました。

社協 コピー機などの設備は？

浅利 ありますが全戸配布のような大規模な場合はネット印刷を利用しています。

今後のテーマは役割分担と役員増員

社協 運営していて一番大変なことは？

浅利 自治会員の名簿管理です。

諏訪部 個人情報なので共有して取り組むこ

とが難しく、会長が一人で担っています。

浅利 秋まつり前は、自分の仕事を調整しないとできない状況で大変でした。

諏訪部 浅利さんじゃなきゃ会長は務まらない。

浅利 私の後任が苦しくないように分担の方法を話し合う予定です。また、役員の人数を増やしたいと考えています。

役員募集は試行錯誤

社協 役員募集の取り組みについて教えてください。

人見 自治会主催のイベントに参加してもらい、自治会を知ってもらうという方式で役員を募ろうとやってきましたが、あまり進展しませんでした。

子どもイベント「パパママ集まって」は、参加者が60人くらい集まりました。子どもの年齢ごとにグループを作り、役員がファシリテーターとしてパパとママが話やすい雰囲気を作ることを主軸にしていたので、「自治会の役員どうですか？」という話にならず、最終的にアンケートと最後の挨拶で伝えるに留めました。自治会の裾野を広めることはできましたが、自治会役員募集には繋がりませんでした。

今後は直球勝負で「自治会役員に興味のある人集まって」の会をやってみて、0人でもやり続けることで、知ってもらって「ちょっと聞いてみようかな」の入口にしたいと思っています。

住民主催イベント

社協 「パパママ集まって」は自治会事業としての開催ですか？

人見 自治会の中の分科会として「住民主権イベント」というチームがあります。住民がやってみたいイベントを住民に主催してもらい、自治会はそのサポートをします。その延長線上で「パパママクレストカフェ」を提携して実施しています。

社協 他にどのようなチームがありますか？

浅利 子ども会、バーベキュー同好会、住民主権イベントチームの3つです。これから部活動的なものを増やしていきたいと思っています。

社協 興味深いですね。

人見 やりたいことがある住民を募集して、手が拳がれば自治会と打合せをして、実施します。平均すると月1回ぐらいの頻度で開催しています。

例えばオリンピックやサッカーなどのパブリックビューイングを実施しました。サッカー日本代表の試合は満席で、パイプ椅子を追加で用意しました。子どもたちには自治会で購入した鳴り物を渡して大盛況でした。

他にも、自分の子どもが将棋をしているので「みんなで将棋をしよう」や「ボードゲーム」など個人のアイデアでやりたいことが集まってきます。基本的に予算はなく、必要な物は持ち寄り方式で住民の方が集めます。参加者は当日にならないと分かりませんが、大体10人以上は集まります。

リピート開催もあり、パブリックビューイングは3回、ボードゲームは2回開催しています。

イベントで役員と住民の関係ができたことで、秋まつりでのお手伝いにつながっています。

社協 住民がやりたいことをサポートする形

がとてもいいですね。

人見 最初の打合せでルールだけは確認します。ルールを守ることが前提で、あとはお任せです。役員の負担が増えないということも重要だと思っています。バーベキュー同好会含め、会長との信頼関係のもと、任せてくれていると思っています。

浅利 私も参加者として楽しませてもらっています。

社協 住民主権イベントのルールについて教えてください。

人見 営利活動、布教活動、公序良俗に反する行為などがいないか確認しています。個人情報関係もあるので、写真などは基本的に撮らない、撮る場合は許諾を取るなども注意しています。また、自治会主催のイベントなので自治会員のみの参加としています。

浅利 念書をもらっていますね。

人見 打合せの時にルールを確認して署名をもらいます。逸脱したことをされてしまうと、自治会の評判が落ちてしまいます。住民の主催だとしても参加している方々は「自治会のイベント」として参加されています。これだけ住民同士が密集して生活していると悪いことはすぐに広まります。だからこそ、厳しくしています。

最初の打合せはオンラインだとしても顔を見て行きます。メールのみはなしです。色々な話をして、信頼関係を築いてから主催してもらおうようにしているので、今のところトラブルはありません。

活動報告はXやブログを使い、接触頻度を高めていくことを浅利会長中心に行っています。

社協 若い世代には SNS の方が馴染みやすい？

浅利 若くても、SNS をみんなが得意という訳ではないと思います。

人見 一番見ているのはチラシです。デジタルとアナログのハイブリットが一番効果的です。本当はエレベーターの中に掲示するのが一番良いけど、ルール上それができないのが残念です。

バーベキュー同好会

社協 バーベキュー同好会について教えてください。

諏訪部 バーベキュー同好会は 50 人ぐらいメンバーがいます。バーベキューをする場所がマンション内にあるので、貸し切りにして開催しています。活動が定着して、メンバーのみで運営しています。

楽しそうな行事で人を集めて、役員の担い手を増やしていけると良いかなと。設備があるマンションだからこその活動だと思えます。先日はパーティールームからカラオケに流れて、みんな楽しんでいました。

自治会の必要性

社協 根本的で失礼な質問になりますが、自治会はあった方が良いと思いますか？

浅利 あった方が良いですね。

人見 あった方が何かしら良いかなと思いません。

諏訪部 このぐらいの規模になると近隣と一緒に何かするのは難しい。

人見 自治会には色々な委員があって、夏や年末にパトロールなどをみんなで行います。でも自治会がなくなると、そういった動きが

全くなくなり、行政など関係機関との関りも薄くなります。そうすると、住民からすると「自治会って何？管理組合とか興味ないよ」となってしまいます。でもその中でお祭りがあるとたくさんの方が来てくれて、意識はしてないけど、触れている機会が多い。そういうことをやっているのが、実は自治会であることを考えると、あった方が良いと思います。でも全く興味の無い層が増えてきているのは確かです。

私自身も全く興味がなかったけど、ふとしたことがきっかけで自治会に入ってみて、皆さんとお話していくと面白くなって。そうことを知ってもらえると自治会の運営に興味をもってもらえます。

役員募集のチラシも最初は・・・

社協 人見さんが役員になろうと思ったきっかけは？

人見 私はたまたまポストに入っていた役員募集のチラシを見て、初めは全く興味がなくて捨てようかなと思っていました。でも妻と「引っ越してきたばかりで誰も知らないよね、マンションの中に顔見知りの方ができるかもしれないね」と話してちょっと参加してみることに。そうしたらあれよあれよという間に…

浅利 濃密な関係になりました（笑）

人見 顔を見ると、「お疲れさま！」みたいな関係になり、マンションの中で何気ない会話ができるようになったただけでも、入って良かったなと思います。そういう繋がりを少しずつでも広げていけたら良いと思います。

諏訪部 会長は大変だけだね。

人見 私たち（諏訪部さんと人見さん）は

割と楽しくやれています。

社協 みなさんやりがいは感じていますか？

全員 感じています。

春に小学校が開校

社協 今後の自治会活動の展望は？

浅利 新小倉という町がキラキラ光って見える地域にしたいです。

諏訪部 小学校ができれば変わりますよ。

浅利 そうなんです。小学校ができればどうなるという話になっていて、PTAと自治会と管理組合、3つの組織がどのようにまとまり、どういった方向にもっていくか。そこは地域の皆さんに力を借りて、体制を作っていないかなくてはと考えています。

秋まつりの効果

社協 自治会設立時から秋まつりの構想はありましたか？

浅利 ないです。一度、管理組合が小さな祭りを開催しましたが、すごい行列ができてしまってできなくなりました。イベント担当と「一緒にやりますか？」という話になりましたが、コロナ禍で止まってしまっただけで、昨年度の跨線橋下のまつりにつながっていきました。

人見 夏まつりの予定だったのが暑すぎて秋まつりになりました。

社協 まつりの効果や実施後の変化は？

浅利 昨年度のまつりはクレームばかりで…。今年はクレームがなく、トラウマを払拭できました。

人見 参加する人は、良いことは中々言わないけど、クレームは言います。去年に比べてクレームが一気に少なくなったのは評価に直

結すると思っています。さいわい縁むす日チームのおかげだと思っていますし、参加した住民も本当に楽しそうでした。

社協 さいわい縁むす日として、社協や行政がサポートさせていただきました。その効果はありましたか？

浅利 あります。我々は地域の中では新参者なので、地域の関係者を紹介していただけたことが良かったです。個人は知っているも、その関係性までは中々分かりません。交通整理をしてくださった消防団の紹介などは本当に助かりました。

社協 地域情報を知りたいという意見が秋まつりで聞かれました。集めた情報を地域住民に周知する方法として先ほどのメール以外にありますか？

浅利 ブログとXを作ったので、そこから周知することは可能です。

社協 地元の商店街を住民に知ってもらいたいと考えています。折角色々なお店があるので、そういう情報を発信して知っていただけるようにお手伝いをしたいと思っています。自治会に入ったからそういう情報も入るようになったという風になると良いと思います。

浅利 ブログで展開していこうと考えています。秋まつりはおかげさまで無事に終わりましたが、出てきた意見をさいわい縁むす日チームの皆さんと一緒に解決できるよう、これからもよろしくお願いします。

5. 考察

(1) 評価

さいわい縁むす日事業仕様書と本会が提案した内容をもとに、評価を行いたい。

① 地域活動に参加するきっかけを創出できたか？

多くの住民に参加いただき、内容に対する評価も高かったことから、きっかけを創出できたと考える。

様々なツールを活用した広報や、子育て世帯が多い特性を考慮し、事前に子ども向けの行事を開催したことなどの効果と予想される。子どもの関心を惹くことで、家族の参加を増やしていくという流れが、子どもが多い地域では有効だと考えられる。

広報については住民が利用するツールが世代により異なっており、参加を促したい住民層を考慮して方法を検討する必要がある。令和6年度幸区区民アンケート調査によると、町内会自治会に加入していない理由として「加入するきっかけがない」が最上位に挙げられている。町内会自治会が運営する魅力的なイベントは加入のきっかけになるものと考えられるが、イベントを知ってもらうために広報の強化が必要である。今後は、町内会自治会運営のDX化が進むことで、住民に対して直接広報するというような新たな取組が求められる。

地域活動への参加については、継続した参加こそが重要であり、参加の仕方についても、行事の参加者からお手伝い、運営者へと参加の濃度が高まっていくことで持続可能な地域づくりが実現される。本事業はあくまで最初のきっかけに過ぎず、インタビューで聞かれた住民主体イベントなどを活用しながら、今後の継続した取組みによって成果が出ることを期待したい。

② 地域課題の解決に資する取組ができたか？

3章に記載したとおり、自治会長との打ち合わせから5つの地域課題を確認している。担い手不足については、この後の④に記載のとおり、掘り起こしはできたと考える。

地域との関わりについては、日吉商店街連合会や日吉郷土史会、民生委員児童委員協議会や市立看護大学、こども文化センターなどに参加していただいたことで、交流の機会を設けることができた。インタビューの中で自治会長が話されていたとおり、さいわい縁むす日事業支援者のネットワークの活用により、一番効果が発揮される部分である。

交通安全の意識については、特に子どもの意識向上を目的として、幸区役所危機管理担当に自転車シミュレーター体験を依頼し、大変好評をいただいたところである。楽しみながら学ぶ機会となったが、日常的な取組が必要であるため評価は難しい。

住民同士の交流については、参加者同士がともに楽しめるような企画を検討したが、安全面やスペースなどを考慮して実施に至らなかったため、取組ができなかった。

大規模イベント運営の不安については、アンケートやインタビューからも払拭できたことが分かる。会場で綿密に計測をするなど、自治会も細心の注意を払いながら準備を行ってきた成果であり、さらに、さいわい縁むす日事業として支援者が入ったことによる効果と考えられる。

以上の点から地域課題の解決に資する取組については概ね実施できたと考える。

③ 町内会・自治会の積極的な参加があったか？

役員会とは別に 10 回ほど打ち合わせが行われるなど、自治会長を中心としたメンバーによる主体的な運営が行われた。管理会社がブースを出すなど準備に携わっている点はマンション自治会ならではの関係性だろう。

一方で、会長の負担がかなり大きくなっている点が憂慮される。インタビューにおいても、役員も認識している点であるが、準備の過程においても、会長自身に負担が大きくなっている状況となっていたため、長い視点での継続性を考えると、次回への大きな課題であると考えられる。

④ 地域に眠っている新たな人材の掘り起こしができたか？

イベント終了後に自治会への加入者が10世帯あり、自治会加入者の掘り起こしができた。

また、参加者アンケート結果から、自治会の運営のお手伝いについて75%の方がしてもよいという考えを持っていることが分かった。今回のイベントへの満足感からそのような考えにつながったとも思われるが、一方で、個人情報の問題もあり、希望している人を特定できていない状況のため、本事業で運営側の掘り起こしができたかとなると、はっきりできたとは言えない状況である。

役員インタビューから、役員の中でも人材、特に新しい役員の掘り起こしは大きな課題として挙げられており、すでに取組が進められている状況である。秋まつりのようなイベントを楽しんでいただくことで自治会への関心が高まり、高まったタイミングで役員への参加を促す取組を行うことで、より効果的な掘り起こしができると考えられる。

⑤ 多くの住民が関心を寄せ、人が集まる内容だったか？

非常に多くの来場をいただいたことから達成できたと考えられる。

要因としては、ステージ、キッチンカーを含む販売、体験、展示と多種多様な企画が要因と考えられ、その背景として、非常に大きな会場で実施できた点が大きかった。会場の調整については幸区役所にも協力をいただき、近隣住民への事前アナウンスや、草刈りなど会場の事前準備などが必要だったが、アンケートからも広い会場で子どもが遊べる広さを用意できた点が大きかった。

地元文化の発信ということでステージを設営したが、参加団体も少なかったため、ステージの充実は次回以降への反省点と考えられる。

(2) 今後のさいわい縁むす日事業について

地域においては、複雑化する課題への対応の必要性が高まっているが、町内会自治会の加入率低下など、地域のつながりの希薄化への危機感が一層高まるとともに、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動に様々な制約が生じている。

地域共生社会や地域包括ケアシステムなどの地域施策において町内会自治会は活動の担い手と

位置づけられており、存在ニーズと課題がともに高まっている状況となっている。

【参考．地域コミュニティに関する研究会報告書（令和4年4月）】

こうした状況の中、イベント等の支援を通じて、「地域における人と人とのつながり」の維持・構築をしていくさいわい縁むす日事業は存在意義が高いものである。

イベントは時間をかけて準備するものであり、その過程で、対象地区の役員と信頼関係が芽生え、本音で会話をすることができるようになり、報告書のインタビューのように貴重な実情を伺うことができた。

また、アンケートなどの効果測定も非常に興味深いものであった。地域活性化に必要なものを聞いた住民の声からは、様々な視点からの意見が書かれていた。住民のニーズの結晶と言えるものであるが、中には情報提供することで解決できるものも見られたため、秋まつり終了後に地域団体の協力をいただきながら、商店街等の協力をいただきながら社会福祉協議会で情報をまとめ、情報発信を実施した。

対象地区で確認できた効果を他の町内会自治会と共有していくことも大切である。今年度の支援を通じて得た知見やポイントを、「町内会自治会イベント開催に向けた手引き」にまとめた。

このように、「支援→振り返り→共有」という過程を毎年繰り返すことで、幸区のがつながりが強化されていくと考えられる。

一方で、今後対象地区が自立して同様の取組を継続していくことが重要であるが、翌年からはいきなり支援なしでの実施はハードルが高いと予想される。1年目は伴走型で支援を行い、翌年は自立した運営を後方から見守り、必要があればアドバイスをするというように、2年継続で同地区を支援していくことで、支援の成果が継続されるのではないだろうか。

また、今年度は地域課題として挙げられなかったが、令和6年度幸区区民アンケート調査では、「10年後の幸区」について「災害に強いまち」が最上位になっており、「町内会・自治会の活動で参加してみたいこと」では「防災活動」が2位になっている。住民の災害への関心が高いため、さいわい縁むす日事業においても、災害を意識した活動を検討してはどうだろうか。

さいわい縁むす日について



事業の説明と希望する町内会・自治会の募集

さいわい縁むす日ロゴマーク

■地域コミュニティの希薄化を解決するためのきっかけづくりとして

「人と人とのつながり」は防災・防犯をはじめ、子育てや高齢者の見守り、地域の清掃など区民の暮らしの基盤だと考えています。大型マンションの建設等による人口の増加が進む中、町内会・自治会の加入率は減少傾向にあり、特に若い世代における地域への関心や人間関係の希薄化が進行し、地域力の低下が課題になっています。また、長年区と共に市民活動の活性化に寄与してきた市民活動団体においても、担い手が固定化・減少しており、活動の活性化が課題となっています。

そこで幸区では、私たちが日ごろ生活している地域において人と人とのつながりをつくるため、地域への関心や関わりが薄い層に対して地域活動に参加しやすいきっかけを創出することを目的に「さいわい縁むす日」事業を令和4年度から本格実施しています。

企画内容は、一緒にこの事業を進めていただく町内会・自治会における地域課題の解決に資するもので、「人と人とのつながり」を創出するきっかけとなるものとしします。具体例としては、マルシェ、ガレージセール、美化活動、防災イベント、発表会、文化祭、飲食イベント、交流会、サロン、スポーツイベント等が挙げられます。

■昨年度の様子

周辺町内会や商店街と連携し、地域コミュニティづくりの場になりました

令和5年度は、塚越ミレナリータワーズ自治会の「マンション居住者間の顔の見える関係性が希薄である。活動の担い手が固定化している」といった課題解決に向け、塚越2丁目町内会と連携し、令和6年3月10日にイベントを開催しました。内容としては、駄菓子、川崎産新鮮野菜販売を居住者が担当し、近隣商店街の飲食店の出店や、市民活動団体によるボードゲームコーナー、塚越中生徒による似顔絵体験、NPO法人による自然体験プログラムなどのブースが出ました。当日は大盛況となり、地域の新たな交流が生まれました。

来場者アンケートでは、「新しく知り合いができ、交流や繋がりが生まれた」「今後運営に参加したい」という声が聞かれ、「さいわい縁むす日」が町内会・自治会活動に参画するきっかけになったことがわかりました。



■「さいわい縁むす日」の進め方について

(1) 令和6年度の流れの例

○令和6年度については、次のようなスケジュールで考えています。ただし、これは地元の皆さんが主体になって行うものなので、地域のスケジュール優先で行います。

《複数の町内会・自治会から応募があった際の選定方法について》

申込書の内容や、必要に応じて実施するヒアリング内容を精査し、得られる効果、継続可能性、他の地区・団体への展開可否等を総合的に検討し、決定します。

<p>①さいわい縁むす日の対象地区を決めます (6月ごろ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さいわい縁むす日を実施する地区は、町内会・自治会単位とし、1地区とします。 ・さいわい縁むす日の実施を希望する町内会自治会は、別添の希望申請書に必要事項を明記の上、<u>5/17(金)</u>までに幸区役所地域振興課までご提出ください。
<p>②地区のまちの課題をみつめます (7月～9月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決まった地区について、地元のみなさんと話し合い、その地区が抱える地域課題について出し合います。 ・さいわい縁むす日は、その解決につながるような取組になりますので、どのようなことを取組めば良いのかを地元のみなさんと一緒に考えます。
<p>③さいわい縁むす日の開催 (10月～12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・②で検討した課題をさいわい縁むす日として取り組みます。 ・さいわい縁むす日とありますが、1日で終わってしまうのではなく、継続的に取り組めるものが望ましいと考えています。
<p>④結果報告 (1～3月ごろ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地区でも、展開できるように記録を作成し、区のホームページ等に掲載します。(記録作成やホームページ掲載は、社会福祉協議会や区役所で行う。)

(2) 区役所側の支援体制について

○当事業にあたっては、幸区役所と社会福祉協議会が御支援します。具体的には、地元での打合せや会議に出席し、地域活動がスムーズに進むように、これまでのノウハウや知見、情報などを活かして御支援します。

○イベント実施等の費用は、町内会・自治会で負担していただきます。

○準備期間を通じて、必要があれば、町内会・自治会の運営体制についても一緒に検討します。

＜さいわい縁むす日とは＞

フランスのパリで1999年に始まった「隣人祭」に由来する。隣人祭とは、独居高齢者の孤独死に心を痛めたとある青年が、年に1度、ご近所同士で食べ物や飲み物を持ち寄って、パーティを開き交流を深めたことから始まった活動である。また、渋谷区では、欧米の取組を参考に6月の第一日曜を「渋谷おとなりサンデー」とし、渋谷区に住む人・働く人・遊びに来る人、渋谷区にかかわる人みんな含めて「おとなりさん」として、地域に目を向けるきっかけを作っている。さいわい縁むす日は、これらを参考に取組を始めたもの。



【問い合わせ先】

幸区役所地域振興課 担当 穴澤・五嶋 電話 044-556-6609

幸区社会福祉協議会地域課 担当 山本・木川 電話 044-556-5500

さいわい縁むす日開催地区希望申込書

「さいわい縁むす日」開催を希望される町内会・自治会は、下記に必要事項を記入の上、幸区役所地域振興課までお送りください。

①町内会名		
②代表者	お名前	
	連絡先 (電話番号・ファックス・メール等)	
③さいわい縁むす日を希望した理由		
④地域(町内会)が抱える課題 ※普段感じている課題で構いません。また、複数の課題を挙げていただいて構いません。		
⑤町内会の体制 ※役員の数・部など		
⑥町内会の主な活動内容		

ご希望する町内会・自治会は、**5月17日(金)**までに下記にお送りください。

幸区役所地域振興課 担当 穴澤・五嶋

(郵送の場合) 〒212-8570 川崎市幸区戸手本町 1-11-1

(ファックスの場合) 044-555-3130

(メールの場合) 63tisin@city.kawasaki.jp (上記の内容をメールにご記入ください)

2. 打ち合わせ記録

(1) プロジェクトチーム打合せ

さいわい縁むす日 打合せ

令和6年6月20日(木) 11:00~12:10

参加者：浅利会長、区役所（櫻井課長、穴澤係長、五嶋職員）、区社協（大竹事務局長、山本課長、木川職員）、市社協（小田課長、衣笠）

- 1 時期：11月2日(土) 候補日 @さいわいふるさと公園（今後調整）
10月末~11月初旬
10/19 区民祭、11/24 ボッチャ大会、第1日曜 朝市
- 2 コンセプト：日吉地区を知ろう！（大人の交流！子ども向けイベントに偏らないように）
- 3 内容：農作物販売、地元商店、キッチンカー
展示（町内会、民児協、福祉施設等）
子ども向けイベント（子ども会、キットパス、神奈川工科大）
大人向けイベント商店街、キッチンカー、文化・歴史、新設小学校のパネル展示（教育委員会より）
車式のステージ（10万程度）を考えている（行政が入れるか確認）。音楽も流したい。
フランポネ（お笑い芸人）→出演依頼（市社協）、小倉音頭
- 4 予算：歳入をどう考えるか 出店（わたあめ、ポップコーン）協賛金は？
約50万円70万円+出店料（1万円）※区民祭は2日で3.5万円
会費5月に徴収
総務省：宝くじ財団の活用か？
補助金：川崎市
出店料をとることも検討している。
来年度以降も継続可能金銭的・人間的に負担がかからない仕組み
テント10、机30、イス80（設営撤去込み）
- 5 人員：マンション内で事前アンケートを取って募る→昨年度実施400人参加の回答。実際は2000人規模だった。
参加者：1000~1500人想定（最大2000人）
スタッフ：20~30人（マンション）
小倉小学校おやじの会
みまセン、民児協、地区社協等に声かけできる。
イベント開催について日吉商連（高橋会長）に話をする。
- 6 会場レイアウト：広場の住宅（道路）側をフリースペースとして、防音対策とする
駐輪場スペースの確保
- 7 広報：自治会、近隣小学校と考えている（浅利会長）
想定来場者数 5000人以上？規模により警備の課題がある。キッチンカーの数も変わる
チラシ案作成（区社協）
- 8 お悩み（課題）：
予算、場所（物品の保管）

人が集まりすぎたときの対応・対策

住民同士の交流が希薄（親同士 30 歳代が多いが・・・）

近隣商店街との関りが無い（子供同士は知り合いでも・・・）

新設小学校ができた後も小倉小学校とのつながりを続けていきたい

近隣地域とのつながりを持ちたい

交通について

（ゾーニング出来ていない。もともと工場地帯だったので整備しきれていない部分がある。住民全体で交通安全の意識を高める必要性。小倉の地区で亡くなった子もいる。起き得る事故。安全で住みやすい地域。いかに大人が見守るか。）

大人の交流も出来る場の必要性（部活動を立ち上げている(ソフトボールなど)）

9 交通整理：地元消防団に社協から協力依頼。横断・駐輪禁止の張り紙、カラーコーン設置

10 雨の場合：展示のみ跨線橋下に移動（道路公園センターに使用許可を取る→浅利会長）

飲食は雨天決行

11 ゴミ・トイレ：後片付け等をしっかり。ゴミはマンションで対応。

12 電源：自治会で発電機を 2～6 台購入予定、社協でも貸出可能

13 近隣対策：行政から開催日程が決まったら説明する

14 プレ企画：危機管理、道路公園センター住民に声掛けをして、まち歩きをして課題発見の機会とする

地域を知ってもらう（リクエストがあれば）※道路の危険箇所については実施済み

ポッチャをやりたいと思っているが今年度はあきらめている。このイベントでやってもいいと思っているが幸区の大会は間に合わない

強化月間の 9 月～10 月に住民が参加できる地域の催し物をリストアップして参加してもらっては？地域とのつながりづくりのきっかけになるのでは。

行政で作成している町内会自治会ハンドブックの簡易版幸区 ver の作成を考えている。

自治会プロジェクトメンバーは 5 人いるが土日のみしか活動できない。6/23 に話し合い、広報範囲、企画、予算の割り振りを決める予定。行政・社協メンバーと合うのは前日・当日になるのでは。

次回日程 令和 6 年 7 月 19 日（金）10 時から 幸区社協

さいわい縁むす日 打合せ報告

令和6年7月19日（金）10：00～11：00

参加者：浅利会長、区役所（穴澤係長、五嶋職員）区社協（大竹事務局長、木川）、
市社協（小田課長、衣笠職員）

※次第に沿い検討・確認

1 前回の内容について

2 開催について

日程・場所：11月3日（日）開催（前日準備あり）、さいわいふるさと公園

※使用時間が8時～18時のため、スケジュールは自治会にて検討

想定来場者数：2000人

予算：70万円

キッチンカー出店料：日吉商店街に確認して、商店街の金額と合わせる

野菜販売 お美味クラブ（出店料なし、買い取りなし）

内容：別紙（役割分担一覧にて確認）

ステージ：トラック型はNG、組み立て式にて設置する

トイレ・水道の利用：使用OK、キッチンカーは水道の使用不可

雨天時：跨線橋下に会場を移す

・キッチンカーが入れるか確認中（区役所）

・カラーコーンで立ち入り禁止エリアをわかるようにする

SNSの活用：自治会（HP、ブログ）

市社協（LINE、インスタ、FB、X）→使うかは自治会にて検討（来場者が増える懸念あり）

3 広報について

配布先：自治会会員（紙で配布）

近隣は掲示のみの方向。範囲は自治会にて検討する。

区社協広報紙・社協通信への掲載→了承

チラシ等の「お問い合わせ先」について自治会にて検討する。

4 今後のスケジュールについて 別紙2にて確認

5 強化週間について

アンケート：効果測定のため、イベント後に実施内容は後日検討

OGURA VENUE：小倉地域のイベントや居場所を紹介して地域を知るきっかけにする

次回日程 令和6年8月10日（土）8時30分 さいわいふるさと公園多目的広場

8/10 会場下見・打合せ報告

▼決定事項

- ・スタッフ控室をステージと本部の裏に設置。
- ・フォトスポットあり
- ・仮装してきた自治会加入者には特典あり
- ・開催時間 11:00～15:00（17:00 には撤収予定）※18:00 完全撤収
- ・雨天決行。[警報] が出た場合には中止。注意報は実施。
- ・会場の出入り口は3か所。別紙会場図の①～③
- ・自治会役員の自転車は別紙会場図の④スペース
- ・チラシは自治会用と地域住民向けの2種類作成【区社協】
※できるだけ徒歩で参加していただけるよう案内。

▼確認事項

【自治会】

- ・大人向けイベントとして謎解きを実施予定。問題はネットで作成を依頼する
- ・ビンゴは実施する？
- ・ステージについて、ブラスバンド、日本舞踊、キッズダンスは確定？
※自治会内で広く募集をかけて、タイムスケジュール等を作成（10/16 まで）
- ・ゲームコーナーは看護大、こ文、自治会、神奈川工科大、キットパスを予定。
- ・チラシの問合せ・連絡先をどうするか
- ・飲食とゲームコーナーの配置検討

【区役所】

- ・キッチンカーの寸法確認
- ・キッチンカー2台(rico café・キッチンカーぐるぐる)は決定。クレープ・がつつり系(丼もの)を追加してほしい
※バハ・マール(塚越のカレー店)の出店は難しい？
→法律？条例？が代わり、指定の調理場以外での調理は一工程のみ。(カレー店の場合、カレーを温める、ナンを温める、で二行程となり×)
→どこまで厳しくするかは検討するとして、詳細を衛生課に確認し、共有【区役所→自治会・社協】
※パンとカフェが出店予定(自治会調整)のため、キッチンカーでのコーヒーの販売は避ける。
- ・キッチンカーは前日の中止判断で対応可能か。また何時が最終判断となるか
- ・会場は翌日の午前中まで確保しておく
- ・会場整備に使うブラシはどこにあるのか確認
- ・VR体験は砂地での実施不可。ブルーシートを準備する
- ・音響機器の写真を撮って送る(区役所→自治会)

【自治会・区役所】

- ・別途「飲食出店内容」の追記。
※キッチンカーやテントの寸法、雨天時の対応について項目を追加。

【区社協】

- ・野菜の販売はトラックから荷下ろし可能か
- ・子ども文化センターは前日の中止判断で対応可能か

- ・キットパスについては日吉第3地区民児協に5名程度協力をお願い
※併せて赤い羽根の募金箱の設置・広報啓発を行う。

【市社協】

- ・トランシーバーを借りる
- ・跨線橋の図面作成
- ・神奈川工科大も砂地不可？要確認。併せて必要資材(机等)を確認

▼準備物

- ・発電機【自治会】
飲食関係4つ+子ども向けイベント(神奈川工科大)、VR体験(危機管理)※追加
- ・小倉小学校からリアカーを借りる予定【自治会】
併せて(交通規制等のため)カラーコーンを借りることはできないか
※区役所でも折り畳み式のリアカーを借りることができないか確認。区社協からは台車を持参。

▼掲示スペース ※それぞれの掲示方法・形態や量を確認

- ・日吉郷土史会(市川会長)【区社協】
- ・民生委員児童委員協議会【浅利会長・区社協】
- ・区社協・地区社協【区社協】
- ・町連(町内会・自治会のパンフレットなど?)【区役所地域振興】
- ・子育てマップ【区役所みません】
- ・新設小学校のパネル【浅利会長】
→掲示コーナーだけで固めてしまうと人の往来があるか少し心配なため、関連性のある子ども向けのイベント等を間に挟むことはできないか。
例)・民生委員児童委員の紹介+キットパス(日吉第3地区民児協に協力依頼予定)
・子ども文化センターの紹介+昔遊ぶorゲームコーナー

▼作成・準備

- ・各種張り紙は思いつくものをリストアップして順次作成【区社協】
- ・看板(各店舗、会場入り口など)の作成【区社協】
- ・横断幕【区社協】
※ハロウィンっぽいテイストに統一
※設置のための消耗品購入【区社協】
- ・縁むす日ロゴマークのデータをいただく【区役所→区社協】

▼スタッフ・職員体制

- ・区役所4名、区社協4名、市社協2名+危機管理室、みません
- ・別紙「内容等役割分担」にスタッフの配置人数の入力をお願い。併せて自治会から何名スタッフを出してただけるか確認【自治会】

▼開催の有無について

前日判断。連絡系統[自治会→社協→区役所 →各担当の協力団体]に連絡
※前日の何時までに判断するかをキッチンカー等のキャンセル可能時間に合わせて設定。

※別途緊急連絡先はリスト化します【区社協】

▼アンケート（作成：区社協、運用：自治会）

マンションの住人の方向け。マンション内のメールで協力をお願いする。

- ・地域課題を抽出できるようにしたい。
- ・対抗戦の参加者に →「お祭りやりますよ」の案内と併せて課題に感じてること、どんなことであれば地域活動に参加したいと思いますか？アンケートを行う。

※個人名で集計を取ってもらう。

- ・事後アンケートも実施する。

※赤字は下見後の打合せでの追記事項

さいわい縁むす日 打合せ報告

令和6年9月9日(月) 10:00~11:00

参加者：浅利会長、区役所(穴澤係長、五嶋職員) 区社協(大竹事務局長、山本課長、木川)、
市社協(小田課長)

※次第に沿い検討・確認

1 前回の内容について 資料1-1~3

2 開催について

(1) 開催内容について

：資料2(役割分担一覧にて確認)

お弁当：協力者向けに自治会と区社協にて負担。注文は自治会、発注数をとりまとめお伝え。

(2) 会場の配置について

：別紙(会場図 ※浅利会長作成)

飲食関係：図面上部(①~⑩) ②と③はテントを近づけ設置。①と④を入れ替え。

掲示(展示)：①「まちの活性化に必要なこと」は付箋に記入してもらったものをグルーピングしてまとめる。

：⑤として、ゴールドプレスト(マンション管理会社)の看板を設置。

※管理会社から10名ほどお手伝いに来てもらう予定

自転車スペース：縦に2台並べる。

控室：スタッフ・ボランティア等の飲食・休憩スペース

※仕切りを設置し、入り口から見えないよう考える。

フォトスポット：壁に紐で括り付ける。2か所程度。印刷は区社協にて

(3) その他確認事項について

・会場の利用について

ふるさと公園

：・楽器の使用は不可。

・来週以降、区役所が近隣住民への説明に伺う。

・グラウンド使用の管理運営協議会にも説明済み。

・周辺住民への説明：小倉上・下の町内会住民にはポスティングでビラとチラシを配布。

※これまでに音を出すイベントを実施したことがないため、丁寧に対応していく。

跨線橋下

：プロパンガス・火器の使用は不可(道路公園センターより)

(4) 必要物品について

・別紙「秋祭りと幸縁むす日事業の協業について」にて検討。

音響(別紙「卓上型アンプ・写真」とトランシーバーはお試し日を設けることに。

※別途日程調整。

舞台発表の音源は事前に非公開のYouTubeに上げておく。

3 広報について

(1) チラシの配布 別紙案

：データでお渡し

修正点

- ・日時をチラシの中央に配置
- ・クレストプライムレジデンス「自治会」と加筆
- ・大人楽しいコーナーはなし。縁むす日の説明をもっと目立つようにしてほしい。
- ・お問い合わせ先は自治会のメールアドレス。
- ・社協は共催に修正。自治会・区社協・区役所のフォントサイズを同じぐらいに。

(2) ポスターの掲示

：チラシを A3 判にして 50 部印刷

※小倉上下の掲示板にはポスターを掲示してもらう。

4 今後のスケジュールについて

別紙 2 にて確認

5 強化週間について

- ・アンケートの実施

- ・各種イベント情報の提供

6 その他

浅利会長より

- ・概算見積書

※テント用のウエイトが不足しているため、借りられるところがあれば協力いただきたい。

次回日程 令和 6 年 10 月 9 日 (水) 10 時 さいわい健康福祉プラザホール B

さいわい縁むす日事業 打合せ

日時: 令和6年10月9日(水)10:00

場所: さいわい健康福祉プラザホール B

1 前回の内容について 資料 1

2 開催について

(1) 内容 資料 2 内容等役割分担・別紙 1 飲食関係出店内容

- ・大人も参加できるイベントは、ポッチャを検討していたがスタッフの確保が難しいことから、今回は断念。
- ・(幸区地域振興課より)全国緑化フェアの一環として花手水の鉢を展示したいとの希望
→子どもたちがケガをしない位置に配置することに。
- ・景品交換について、景品 200 と参加賞 800(うまい棒)を準備する。
- ・お弁当は区社協取りまとめ発注数を 37 でお願い。
- ・文化歴史の紹介について、パネル 3 枚で OK
- ・飲食店関係出店内容について、日吉商連の持ち込み販売(その場での調理なし)の販売方法を今一度確認する。

(2) 会場配置について 資料 3-1・2

・晴れの場合

資料 3-1 のとおり。

- ・テント⑩ホットドッグはバーベキュー同好会が手伝ってくれる。
- ・⑬の隣にもう1台キッチンカーが入る。
- ・ステージは三点囲いの物を準備する予定。
- ・野菜販売と本部の近くにごみ箱を設置予定。
- ・VR 体験のブースで合わせてキットパスを実施
- ・お手伝いとして、ボラ 8 人、ゴールドクレストスタッフ 10 人、子ども会 10 人の予定

・雨の場合

よほどの豪雨でなければ実施。配置については会場も狭いため、特にパンフレットへの記載はなし

◆申請書類◆

- ① 消防(露店等開設届)担当(自治会)
- ② 保健所(食品関係)担当(自治会)
※遅くとも2週間前までに
- ③ 道路公園センター(晴:公園利用申請/
雨:道路占有許可申請)担当(区役所)

3 当日の運営について 資料 2 内容等役割分担

・責任者等の配置

◎本部、子ども向けイベント③(看護大)、舞台、景品交換: 浅利会長・自治会

◎子ども向けイベント②(サンコロビンゴ): 市社協

※サンコロビンゴは先生の参加なし。社協スタッフのみでの運営となる予定。実習生にボランティアを募ることに。

◎子ども向けイベント(キットパス)、地域情報: 区社協

・トランシーバーの携帯

・全9台

浅利会長、地域振興(穴澤係長、五嶋職員)、市社協(小田課長、衣笠職員)、

区社協(大竹局長、山本課長、小林職員、木川)

※自治会所有のものも別途活用する。

・会場案内(パンフレット) **別紙案**

P1:開催への思い→なし チラシと同じ内容で可

P2・3:ステージの内容:フランポネの紹介はあり。写真と紹介文を掲載。

注意事項について、抽選券の交換～は自治会の加入者のみを対象としているため一番下に。ポッチャ～の記載は削除。「まちの活性化に必要なこと」は展示ブース「1」けがなどの救護は本部対応

P4:自治会加入の連絡先にメールアドレスを追加。アンケートの二次元コードを掲載する。

協力についてはそれぞれが紹介している期間・団体等漏れのないよう確認をお願い。

4 広報について

・チラシ **別紙 2**

・周辺町内会へのビラの配布 **別紙 3**

時期:10/22(火) 10:30～

担当:プロジェクトチーム+浅利会長

範囲:公園周辺地域の住民

※同日に草刈り、音響の再テスト、お美味クラブ(野菜の販売)の下見等を実施できれば。

→お美味クラブの下見については、調整ができず別日に。

・周辺企業への挨拶

時期:お任せ

担当:区役所

行先:NEC、富士通など

5 今後のスケジュールについて **別紙 4**

・前日準備

内容:テントを張ってたたむ。機材はできるだけ入れてしまう。

時間:13:00～

※当日は 8:00 集合。

6 強化週間について

・アンケートの実施

会場内に二次元コードを設置して回答してもらえるように。

・各種イベント情報の提供

7 その他

次回打ち合わせ: 月 日() 時 分

場所:

日時：令和6年11月12日（火）14時～14時50分

会場：さいわいパル 研修室B

出席：浅利会長、課長、穴澤、五嶋、大竹、山本、木川、小田

1. 11/3 イベントの反省

■浅利会長より実行委員内の反省について報告

- ・無事に終わってよかった。アンケートは12日にマンション内で配布。
- ・出演団体を増やせばよかった。
- ・昨年の反省を踏まえて来場者を絞ったが、もっと増やせる自信が実行委員の中でついた。
- ・10世帯ほど自治会に加入が増えた。
- ・クレームはなし
- ・自治会での収支はマイナス110万。予算は140万あったので30万余り。ビールがよく売れた。フランクフルトが余った。
- ・テント台が70万くらいかかった。
- ・お手伝いの中に、自治会のお手伝いをしてくれそうな人もいる。自治会、PTA、子ども会と3つの組織があるので、人の取り合いになる。
- ・日吉商連は何とか黒字になったとの報告あり。

■区役所

- ・昼過ぎから参加者が少なくなっていた。
- ・舞台のお客さんが少なかった。
- ・前日からの準備大変だったと思うがよかった。
- ・音響設備がよくなかった。事前の検証が甘かった。

■市社協

- ・サンコロビンゴ、人がたくさん来てくれた。
- ・交通安全との並びもよかった。
- ・フランポネ、司会をしてもらえるのは助かるが、トークは微妙。事前の子どもたちに教えるのはうまかったが。

■区社協

- ・会場が広すぎたかも。
 - ・フランポネの事前に来た子があまり来なかった。もっと小さい子が来ていた印象。対象年齢が難しいか。
- 小倉神社のイベントに小学生が行っていた。他のイベントとの被りは要注意。
- ・様々な機関が関わったが、うまく連携できた。
 - ・野菜の売れいきが悪かった。日差しが当たっていたのもよくなかった。会場が広がったので、野菜売り場まで気づかない人がいた。会場内の案内があってもよかった。パンフレットの図も向きが分かりづらかったか。
 - ・郷土史など、地元に興味をもってもらえたのがよかった。

- ・交通安全、丁寧に教えていたのがよかった。運営がよかった。
- ・売れ残りは気になる。店の数が多かったのはよかったが、値段設定含めて、見直しは必要。
- ・チラシを見て参加した人が多かった。デジタルと紙媒体の併用が大切。
- ・抽選券がチラシについていたのはよかった。自治会加入に繋がるのは大きい。

■アンケート結果中間報告（資料参照）

- ・楽しかったが約9割
- ・販売コーナー、キッチンコーナー、特に飲食系が好評。ステージ見なかった人が多い
- ・知ったきっかけはチラシが半分以上。
- ・商店街の出店で、地元のお店に行くきっかけになったが、お店の場所が分からないという指摘もあった。お店のPRも必要か。
- ・ステージの時間がスケジュールどおりでなかった。出演が増えるとよいか。
- ・飲食スペースを増やしてほしいという意見多い。
- ・子ども参加できるイベントを望む声が多い。
- ・自治会運営のお手伝いをしてもよいという声が見られた。興味がある、面白そうという声が聞かれた。

■地域の活性化に必要なこと（資料参照）

- ・既にあるものもあるので、住民が地域の情報を得られていないかも？→地域マップなど地域情報を伝えられる工夫が必要か。
- ・交通安全は課題か。

2. 今後について

- ・商店街など地域情報の集約→自治会で広報

3. 次年度に向けて

- ・来年は日吉商連に検討メンバーに入ってもらおうとよいか
- ・小倉神社とのイベント被りは避けたい
- ・大きなコンセプトがほしい
- ・会場は新小倉小学校。PTAに声をかけているのでお手伝いはある
- ・出演は年度前に早めにほしいという声あったので、早めに声かけたい。幼稚園など。
- ・来年は7月に参議院議員、10月に市長選挙あり。
- ・12月だと寒い。

→11月8日（土）、9日（日）、16日（日）あたりを候補とすることに。

アンケートがまとまり次第、次回打ち合わせ（年明けか）。次回が最後のまとめ。それぞれの写真も共有。

→アンケートの締切を11月21日で締め切って集約。

(2) 連携団体との打合せ

さいわい縁むす日打合せ

日 時：令和6年8月22日（木）10時～10時50分

場 所：小倉の陽だまり

参加者：土倉会長、区役所（穴澤係長、五嶋職員）、区社協（大竹局長、山本課長、木川職員）、市社協（小田課長、衣笠）

○縁むす日当日の警備について

・朝市の開始時間は10時～だが9時ごろから人が集まるので空けている。時間通りにしたら行列が出来てしまい、危なかった 300～500人が来場する

・自転車禁止にしているが40～50台はくる 中町内会消防団が誘導している
（祭りの時は小倉5町会の交通部も対応している）

→8名程度の協力が消防団から可能か確認していただける

・イベントについて

舞台を使ってカラオケ（プロの登竜門となっている）

小倉神社が純烈の聖地になっている！？

防災訓練もイベント化すると若い世代を巻き込むことができる→小倉神社で300名参加

提携する→看護大学

広報→タウンニュース、東京新聞を利用する

○小倉地区の町会での広報物の取り決め

戸別配布 NG

回覧・掲示は OK

○ご当地漫才ネタ作りのためのフランポネ打合せ

8月30日（金）10時から小倉の陽だまりにて

参加：土倉会長、フランポネ、区社協（山本課長）、市社協（小田課長）

子どものころは尻手黒川道路で野球をしていた

きゅうりまつり

地図を見ながら→地名の由来

○その他

・地域の方への事前説明について

1日限定のイベントとして説明する。必要であれば土倉会長の名前を出しても構わないとのこと。

日時：8月30日（金）10：00～10：45

会場：小倉の駅舎 陽だまり

参加：小倉中町町内会 土倉会長、フランポネ
山本（幸）、小田（地域推進）

自己紹介後、11月3日のさいわい縁むす日イベントの中で、地元の歴史などを盛り込んだ漫才をフランポネに作っていただくということで、土倉会長から小倉地区についてお話を伺った。

- ・元々田園地帯
- ・小倉の地名の由来は、米の蔵がたくさんあったから
- ・明治時代は200世帯くらいの地域
- ・一流企業が社宅を作って人口が増えた
- ・尻手黒川線ができたばかりの頃は、ボール遊びを道路でしていた
- ・商店街を活性化したいということで、小倉音頭を作った。
- ・夢見ヶ崎が小高い山で、太田道灌が江戸城を作ろうとした。夢で兜を鳥に盗まれ縁起が悪いということ でなくなった。鳥が向かった先が、その後の江戸城の場所と言われている。
- ・日吉という地名が幸区にあり、横浜の日吉と繋がっていた。
- ・小倉神社では、7月の第1土曜日にきゅうり祭り。2000本当日配る。近くの神社できゅうり祭りを していて、かっぱは農業の神できゅうりをお供えしていたという説と、このあたりに菱沼家という家があ り、その家紋がきゅうりだからという説がある。

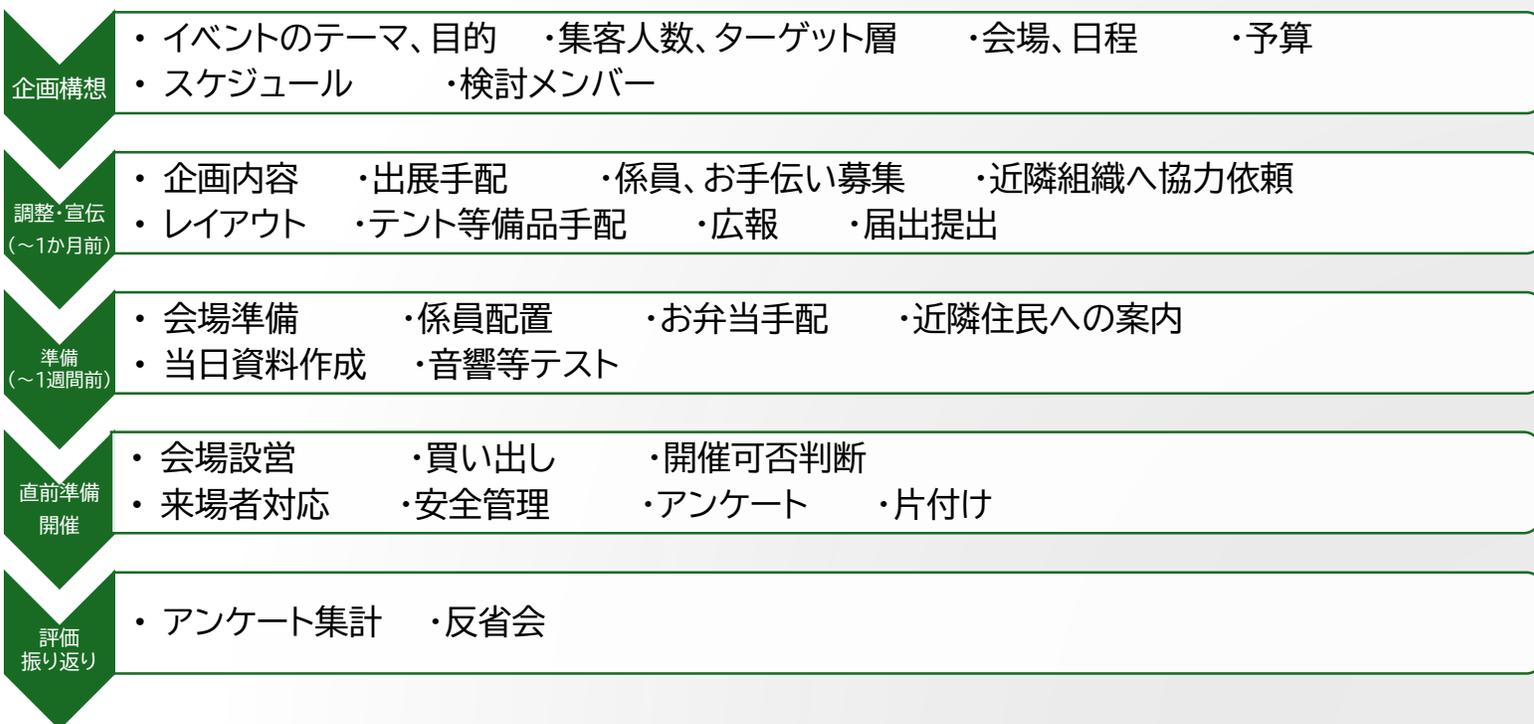
フランポネから漫才に関して資料を用いて説明。併せて本番前の9月か10月に子どもたちを集めて漫才作成講座を開催し、11月3日に披露してはどうかという提案があった。（仮称「オグ1グランプリ」）当日の舞台の時間確保について浅利会長と相談することとし、漫才作成講座については幸区社協で、こども文化センターなどを候補に調整することとした。

町内会自治会

イベント開催に向けた手引き

令和7年3月 さいわい縁むす日事業

イベント開催に向けたフロー



イベントの方向性はここで決まる！
メンバーでしっかり話し合い共有

1. 企画構想

- 早めに検討を開始することが大切です。
- 多くの人が集まるイベントは、地域課題の解決に向けた場になるポテンシャルがあります。テーマや目的を明確にしておく、企画内容の立案がスムーズになります。開催すること自体が目的にならないように注意しましょう。
- 秋などイベントが同じ時期に集中します。区民祭や近隣町会・学校等の行事などを確認しながら開催日を検討しましょう。
- 集客人数を綿密に検討することで、会場候補地、広報などが決まってきます。同じようなイベントの実績が参考になります。
- 町内会自治会から出せる予算だけで運営できない場合は、協賛金や出展料、参加費という方法も考えられます。
- 一部の役員に負担が偏らないように、役割を考えましょう。
- メンバーそれぞれの予定もあるので、開催までのスケジュールや、普段のやりとりの方法を決めておくといいでしょう。

丁寧にすることで、
協力を得られ、
トラブルを防げる！

2. 調整・宣伝(～1か月前)

- テーマや目的に沿った内容を考えましょう。メンバーそれぞれが持っているネットワークを共有することで、内容が豊かなものになります。行政や社会福祉協議会、他の町内会自治会等のイベントも参考になります。
- 近隣の町内会自治会や商店街などに早めに話をしておくことで、協力の依頼がしやすくなりますし、トラブルを防ぐことができます。
- 目標の集客人数やターゲット層を考えながら広報の手段を検討しましょう。若い方がターゲットの場合はSNSの活用も有効です。
- テントや机、発電機、音響関係など大型の備品は早めに手配をしましょう。予算や今後の使い方を考えながら、購入するのかレンタルするのか考えましょう。
- 食品や火器を扱う場合など、届け出が必要になる場合がありますので注意しましょう。
- 協力者やお手伝いを募集する場合は、謝礼など条件もよく確認しましょう。
- レイアウトを考える際は、現地を下見して綿密に計測することが大切です。雨の場合のコンディションも見て、雨天時の対応も考えましょう。

メンバーの負担が一番高い時期！
メンバー間で助け合う意識を

3. 準備(～1週間前)

- 会場・参加者の安全性、休憩・飲食等の快適性を確保できるよう準備しましょう。ごみの分別や新型コロナウイルスなど感染症への対策も重要です。
- 最初の下見の段階から会場の様子が異なっている可能性も考えられます。必要な場合は、草刈りなど会場の準備をしましょう。
- 係員は会場内だけではなく、近隣の交通整理など会場外でも必要になる場合があります。安全を第一に考え、人員配置を検討しましょう。
- 多くの人が集まる場合や音響を使用する場合は、近隣住民に迷惑となる場合があります。事前に告知を行うなど、近隣住民への配慮が大切です。
- 出展団体等と当日の流れを確認しましょう。準備ができるのはいつからか、必要な備品が変更になっていないか、開催中止の判断はいつするかなど、様々な可能性を考えながら、しっかりと情報を共有しておくことで、当日の混乱を防げます。

想定外は必ず
起きる！
臨機応変な対応

4. 直前準備、開催(1週間前～本番)

- 当日の流れを複数人でシミュレーションしながら、準備忘れがないように確認しましょう。
- 前日から準備ができる場合は準備を行い、当日やることを少しでも減らしておくとい良いでしょう。
- 会場までの距離も考慮して、必要があれば運搬用の車などを準備しましょう。
- 中止の判断基準などを事前に定め、中止の場合や当日の係員同士のやり取りの手段を共有しておきましょう。
- 参加者や各ブースの様子に気を配り、必要があれば声掛けを行いましょう。呼び込みなど声掛けだけでも対応できることはあるはずです。
- 終了後の片付けもできるだけ分担しながら行いましょう。レンタル品の場合は、返却方法の指定がある場合もあるので、考慮しながら片付けましょう。

ここを大切にすることで
今後生きてくる！
イベントをイベントで終わらせない

5. 評価、振り返り

- イベント終了後、なるべく早い時期に振り返りの場を設けましょう。イベントの開催は運営者にとって大きな労力を費やすものです。終わった達成感から振り返りは後回しになりやすいので注意しましょう。
- 来場者数など結果をまとめるとともに、成功した点、反省点などをまとめ、次回の開催に繋げていきましょう。
- 来場者やお手伝いの係員などにもアンケートを実施することで、様々な意見を聞くことができ、次回へのヒントがたくさん集まります。
- 掲示板やSNSを活用し、実施結果を住民に報告することで、次回への住民の関心も高まります。
- 報告に写真を使用する場合は、肖像権に配慮しましょう。

6. 主な届出関係

※令和7年末時点での情報です。イベント開催時の最新の情報を確認ください。

◆道路使用許可

道路でイベントを行う場合(露店を出したり、通行を規制する場合など)は、事前に警察署に道路使用許可を申請する必要があります。

(参考)<https://www.police.pref.kanagawa.jp/tetsuzuki/kotsukankei/mesf1016.html>

◆食品衛生法に基づく営業許可

露店で食品を販売する場合は、保健所の許可が必要になる場合がありますので、早めの相談が必要です。

(参考) <https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000140232.html>

◆露店等開設届(火災予防条例に基づく届出)

イベントで火気を使用する場合(バーベキューや花火など)は、事前に消防署に露店等開設届が必要です。

(参考) <https://www.city.kawasaki.jp/840/page/0000064538.html>

◆公園内行為許可:公園でイベントを行う場合は、事前に公園管理者(市町村など)の許可が必要です。

(参考) <https://www.city.kawasaki.jp/templates/faq/530/0000125947.html>

7.社会資源の活用①

◆幸区役所

集団で楽しめる遊具の貸出しを行っています。

(参考) <https://www.city.kawasaki.jp/saiwai/page/0000065526.html>

◆幸区社会福祉協議会

ボッチャ、車いす、高齢者疑似体験、妊婦体験、着ぐるみの貸し出しを行っています。
印刷機、大判プリンター(A1対応)、紙折機、丁合機も利用できます。(有料)

(参考) <http://www.saiwaiku-shakyo.jp/03/01>

◆幸スポーツセンター

ボッチャの貸し出しを行っています。

(参考) <https://www.city.kawasaki.jp/saiwai/page/0000111882.html>



7.社会資源の活用②

◆道路公園センター

機械工具(刈払機、ブロア)の貸し出しを行っています。

(参考) <https://www.city.kawasaki.jp/templates/outline/cmsfiles/contents/0000087/87441/youryou.pdf>



【町内会・自治会活動応援補助金】

川崎市による町内会・自治会活動の活性化に向けた補助制度で、地域の防災活動、地域の環境美化活動、地域住民の参加と交流を促進する活動等公益的な事業活動に要した経費が対象となります。

(参考) <https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000130337.html>

【ボランティア行事用保険】

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事を対象とした保険です。社会福祉協議会が受付窓口です。

(参考) https://www.fukushihoken.co.jp/fukushi/front/council/volunteer_events.html



さいわい縁むす日

クレストプライムレジデンス自治会

秋まつり

11月3日(日) 11時～15時

フォトスポットを準備
しています！仮装して
遊びに来てください。



地域文化発信 コーナー

地域団体等による活動
紹介や展示、子どもの
遊び・体験ブースの他
ステージでは、「小倉」
を題材にした漫才等の
発表を行います！



販売コーナー

各種キッチンカー地元
の商店街やカフェから
の出店もあります。
わたあめ・ポップコー
ン、地産野菜の販売も
行います



お願い

- ・徒歩でのご来場にご協力ください。
- ・雨天時は規模を縮小して小倉跨線橋下で開催します。
※警報発令の場合は中止となります。
開催の有無は下記よりご確認ください。

X(旧Twitter) @ShareSmile_kwsk



さいわい 縁むす日とは

幸区では、私たちが日ごろ
生活している地域において
人と人とのつながりをつく
るため、地域活動に参加し
やすいきっかけを創出する
ことを目的に「さいわい縁
むす日」を実施しています。



お問い合わせ

クレストプライムレジデンス自治会

メールアドレス cprevent2022@gmail.com

共催：川崎市幸区社会福祉協議会

さいわいふるさと公園近隣の皆様へ

さいわい縁むす日 クレストプライムレジデンス自治会秋まつり 開催のお知らせ

この度、さいわいふるさと公園にて、下記のとおりイベントを開催いたします。

飲食ブースの他、音響設備を使用したステージプログラムを予定しております。

当日は、地元消防団・スタッフが会場周辺警備を行います。

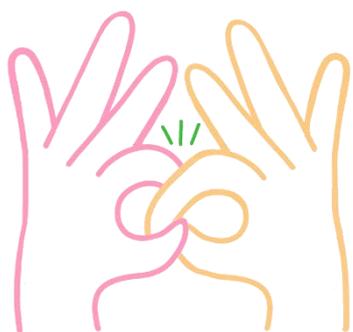
皆様におかれましては、誠に恐縮ではございますが、何卒ご理解、ご協力の程、
よろしくお願い申し上げます。

日時：11月3日（日）文化の日

11：00～15：00（前後の時間は準備で使用いたします）

※雨天時は小倉跨線橋下で縮小開催 ※警報発令時中止

内容：ステージ発表、販売コーナー、キッチンカー、地域文化発信コーナー等



さいわい
縁むす日

問合せ先

幸区役所まちづくり推進部 地域振興課

044-556-6609

主催：クレストプライムレジデンス自治会

協力：社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

クレストプライムレジデンス自治会 活動紹介

設立：2022年12月1日 住所：川崎市幸区新小倉2
加入世帯数：1,312世帯（24年4月1日現在） 役員数：12名

主な特徴：子育て・共働き世代が多く、活動も子ども向けの活動が多い。
マンションは建設途中で、最終的には2,500世帯を超える予定です。
主な活動：秋祭り、子ども向けイベント、座談会、パブリックビューイング等
クレストプライムレジデンス自治会は約2年前に設立したばかりの団体です。
まだまだ活動が十分ではありませんが、新しい自治会像になれるよう役員一同努力しています。

<自治会から秋まつりについて>

ご参加ありがとうございました。
今年度は“さいわい縁むす日”と協同事業となることで、川崎市幸区役所、幸区社会福祉協議会、日吉商店街連合会、川崎市看護大学などから協力を得られることとなり、昨年から出店店舗数が増え、広い会場で行うことができるようになりました。

地域が活性化するには人と人が知り合い、つながることが大切です。
今日の出会いが明日にもつながり、日吉地区の活性化の一助となることを祈念しております。

自治会加入をご希望の方は、各棟及びプラザにある自治会ボックス備え付けの用紙にご記入の上ポストへ投函願います。



幸区社会福祉協議会 事業紹介



地域の福祉課題の解決に向け、住民全員が福祉の担い手となり、住民同士がお互いに「支え合う地域」を目指して、色々な立場の方と話し合い、事業を展開しています。

福祉の何でも相談やボランティアの相談窓口として、また地域福祉の推進のため広報紙の発行・ホームページの運営、福祉教育のコーディネートやボランティア講座等を行っています。

地域住民が気軽に立ち寄り、交流を深めていただく場として、3か所の陽だまりや6館の老人いこいの家などの居場所運営も行っています。

「じぶんの町を良くするしくみ。」である赤い羽根共同募金の事務局も担っています。

誰もが住み慣れた地域で安心して、幸せに暮らせるようぜひ社協事業への参加や賛助会員として資金面での支援にご協力ください。

連絡先：044(556)5500

開館日：月～土曜日 8時30分～17時（火・金曜日のみ21時まで）



協力

- 日吉商店街連合会・日吉地区社会福祉協議会・幸区民生委員児童委員協議会・幸区消防団・川崎市立看護大学・幸区内こども文化センター・日吉郷土史会・お美味さんくらぶ・川崎市教育委員会・フランボネ（吉本興業所属）・神奈川工科大学インタラクティブデザイン研究室

来場者向けアンケート

クレストプライムレジデンス秋まつりにご参加いただきありがとうございます。

今後の自治会活動の参考とするために、アンケートに御協力をお願いします。率直なご意見をお寄せください。

※アンケート結果はさいわい縁むす日事業の報告に活用させていただきます



左記、二次元コードから回答にお進みください。



さいわい縁むす日 クレストプライムレジデンス自治会 秋まつり

11月3日(日) 11時～15時

今日の思い出にフォトスポットで写真を撮ろう！



地域文化発信 コーナー

地域団体等による活動紹介や展示、子どもの遊び・体験ブースの他ステージでは、「小倉」を題材にした漫才等の発表を行います！



販売コーナー

各種キッチンカー地元の商店街やカフェからの出店もあります。わたあめ・ポップコーン、地産野菜の販売も行います。



さいわい 縁むす日とは

幸区では、私たちが日ごろ生活している地域において人と人とのつながりをつくるため、地域活動に参加しやすいきっかけを創出することを目的に「さいわい縁むす日」を実施しています。



お願い

- ・自転車は指定の駐輪スペースに止めてください。
- ・荒天時は規模を縮小して小倉跨線橋下で開催します。※警報発令の場合は中止となります。開催の有無は下記よりご確認ください。



お問い合わせ
クレストプライムレジデンス自治会
メールアドレス cprevent2022@gmail.com

共催：川崎市幸区社会福祉協議会
幸区役所まちづくり推進部地域振興課 電話：044-556-6609 メール：63tisn@city.kawasaki.jp

会場図



景品交換

本部



フォトスポット

出入口



ゴミ箱



出入口

ステージ出演

時間	団体名
11:30~ 12:00	danser camarade melange
12:00~ 12:30	日本舞踊 若宮流
12:30~ 13:30	飛び入り参加募集中 ※出演希望の方は 本部 までお越しください。
13:30~ 14:30	フランポネ まちおこし漫才 おぐ1グランプリ

フランポネ

(吉本興業所属 お笑い芸人)



マナー島岡さんとスイス人の妻、シラちゃんによる国際夫婦漫才コンビ。
マナー島岡さんは川崎市出身。神奈川県「住みます芸人」としても活躍中。
日本で唯一、フランス語で漫才ができるコンビとして高い評価を受ける。

販売コーナー

- ①ポップコーン
- ②わたあめ
- ③飲み物
- ④フランクフルト
- ⑤カフェ
- ⑥パン
- ⑦かき氷
- ⑧おにぎり・もつ煮等
- ⑨ホットドック
- ⑩地元野菜
- ⑪アルコール

キッチンカー

- ①タコライス
- ②クレープ
- ③オランダワッフル
- ④チュロス

地域文化発信コーナー

- 体験
- ①出前こども文化センター
 - ②挑戦！サンコロビンゴ
 - ③自転車シミュレーター
 - ④スーパーボールすくい
 - ⑤ロバ隊長のペーパークラフト体験
 - ⑥キットパスで手形をとろう！
- 展示
- ⑦歴史ある里 日吉
 - ⑧幸区の地域活動紹介
 - ⑨自治会活動報告
 - ⑩まちの活性化に必要なこと

注意事項

- ・地域情報発信コーナー⑩で「まちの活性化に必要なこと」のご意見を募集しています。ぜひご参加ください。
- ・迷子や落とし物が本部までお問い合わせください。
- ・けが等で救護が必要な場合には本部までお越しください。
- ・ゴミの分別にご協力をお願いします。
- ・荒天の場合、規模を縮小して小倉跨線橋の下で開催します。※出店内容が異なりますので、ご了承ください。
- ・自治会会員限定の景品交換は地域情報発信コーナー⑩で行っています。
- ※景品には限りがございますのでなくなりしだい終了となります。

荒天の場合

- 内容
- ①パン
 - ②カフェ
 - ③飲み物の販売
 - ④フランクフルト
 - ⑤アルコール
 - ⑥ホットドック
 - ⑦地元野菜の販売
 - ⑧自治会会員向け景品交換コーナー
- ※内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

地域を知り、まちを楽しむ

そんな地域の魅力再発見の日へようこそ

あなたのまちで

ご縁が広がる

さいわいでステキな時間

出会いと発見

まちが、ひとが、紡がれる



令和6年度さいわい縁むす日報告書

令和7年3月